

営工第4-6号

市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事

上越市



工事名称	市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事					
工事概要	令和3年12月(全52枚)					
1. 工事場所	上越市港町2丁目地内	2. 敷地面積	1796.64㎡			
3. 工事内容	長期寿命化をはかるための外部改修工事 (屋根・軒庇改修、外壁・軒裏改修、バルコニー・廊下・玄関床防水改修 (外部改修に関する種、建具、金物等、換気、融雪、照明設備等劣化部の改修)					
4. 工事種目(建物概要)						
建物名称	工事種別	構造	階数	延べ面積(㎡)	消防令別表第一	備考
市営港町特定公共賃貸住宅	改修	SRC造一部S造	14階	3887.47㎡	5 項口	

## 仕様書

### I 共通仕様

- 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「改修仕様」という。)により、改修仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「仕様」という。)による。
- 改修仕様に用いられている用語を、次のとおり読み替える。
  - 「工事請負契約書」を「上越市財務規則(昭和46年4月29日上越市規則第35号)別記(第173条関係)建設工事請負契約書」(以下「約款」という。)に読み替える。
  - 「監督職員」を「監督員」に読み替える。
  - 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。
  - 「請負者」を「受注者」に読み替える。
- 次の各号に該当する改修仕様の項目について、改修仕様の規定を別表に置き換えて適用する。
  - 1章 1.1.2用語の定義の(7)、(8)及び(9)
  - 2章 1.4.2材料の品質等の(1)及び(2)
  - 3章 1.4.4材料の検査等の(1)
  - 4章 1.7.1工事検査の(2)及び(3)
- 改修仕様の次の項目の規定は適用しない。
  - 1章 1.1.2 用語の定義の(9)
  - 2章 1.7.2 技術検査別表(建築改修工事)

別表(建築改修工事)	項目	置き換え後の改修仕様の規定
(1)	1.1.2 用語の定義	(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (8)「書面」とは発行年月日に記載された文書を用いる。 (9)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。 (ただし、②に係る検査を除く。) ①工事の完成(約款第32条) ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等(約款第38条) ③部分引渡し指定部分に係る工事の完成(約款第39条) ④契約の解除時における出来形部分(約款第47条) ⑤必要があると認められたときの臨時検査(約款第49条)
(2)	1.4.2材料の品質等	(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(一般社団法人公共建築協会)契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合(次の(7)から(9)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。 )は、この限りでない。 (7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (4)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品(特記で改修仕様及び仕様仕様の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。) (9)特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1.4.4材料の検査等	(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(7)若しくは(9)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7)工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (4)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1.7.1工事検査	(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第47条及び第49条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

項目	特記事項
1 工事実績情報	※請負工事費500万円以上の場合、登録する [1.1.4]
2 概成工期	※無し ・有(工期 令和 年 月 日) [1.2.1]
3 内部の工事期間等	※着手 令和 年 月 日 ~ 終了 令和 年 月 日までとする。 ※工事請負約款第34条に基づき、部分使用承諾書により、施設内部の使用を開始する。 ※次の作業は内部工事着手前に行える。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。 ※外部足場組等での仮設工事 ※工場制作のための現場寸法調査
4 品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件 [1.2.2] ①地区の区分に応じた風速(Vo(m/sec)) ②3.0・3.2 ③地表面粗度区分 ④I ⑤II ⑥III ⑦IV ⑧多雪地域の指定 積雪区分 建造令第1455号 別表(30)
5 監理技術者の要件	※建築工事に係る監理技術者証を有するもので、次のいずれかの要件を満たす監理技術者を専任で配置できること。 1 建築工事の施工に関し、10年以上の実務経験を有すること。 2 一級建築士又は一級建築施工管理技士の資格取得後4年以上の実務経験を有すること。
6 電気保安技術者	※要 [1.3.3]
7 発生材の処理等	10追加特記 7「発生材の処理等」による。 [1.3.12]
8 特別な材料の工法	改修仕様及び仕様に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。
9 施工数量調査の方法	目視及び打診(必要に応じて破壊)による調査を行う。調査範囲及び調査内容は各章による。 [1.5.2]
10 技能士	[1.6.2]
11 見本施工	※実施する [1.6.5]
12 化学物質の濃度測定	10追加特記 8「化学物質の濃度測定」による。 [1.6.9]
13 完成図等	下記のものを作成し提出する。 ※設計図の図面目録と同一の図面一式 ※施工図一式 ※建物の保全に関する説明書(取扱説明書を含む。) 下記による作成方法、提出部数とする。 ※図面は原図サイズにて製本し、 ※完成図 2部 ※施工図 1部 提出(表紙及び背表紙(可能な場合に限る)に工事名、受注者名を入れること) ※CADで作成した図面はデータ化し電子媒体にて提出する。 ※説明書はファイルに綴り ※2部 ・部 提出 ・その他監督員が指示した図面等 ・ 図 部 提出
14 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
15 工事完成写真	※同一箇所の改修前と改修後が比較出来るように整理のうえ監督員に提出する。 ※提出部数 1部
16 工事施工状況写真	※工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(平成28年版)」による工事写真撮影ガイドブック(建築工事編及び解体工事編(平成30年版))を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 ※提出部数 1部 10追加特記 6「工事区分表」による。
17 設備工事との取合い	

仮設工事	1 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3] 2 監督員事務所等 [2.4.1] 3 工 事 用 水 [2.2.1] 4 工 事 用 電 力 [2.3.1] 5 仮 設 建 物 等 [2.3.1] 6 足 場 [2.2.1] 7 養生 [2.3.1] 8 仮設間仕切り [2.3.2]
防水改修工事	3 ①施工数量調査 [1.5.2] 2 防水の保証等 [2.3.1] 3 アスファルト防水 [3.1.4][3.1.1][3.3.3][3.3.3]~[3.3.10]
防水改修工事	3 ①施工数量調査 [1.5.2] 2 防水の保証等 [2.3.1] 3 アスファルト防水 [3.1.4][3.1.1][3.3.3][3.3.3]~[3.3.10]
防水改修工事	3 ①施工数量調査 [1.5.2] 2 防水の保証等 [2.3.1] 3 アスファルト防水 [3.1.4][3.1.1][3.3.3][3.3.3]~[3.3.10]

防水改修工事	3 アスファルト防水 [3.1.4][3.1.1][3.3.4][3.4.3][3.4.3]~[3.4.1]~[3.4.3] 4 改質アスファルト防水 [3.1.4][3.1.1][3.3.4][3.4.3][3.4.3]~[3.4.1]~[3.4.3] 5 合成高分子系膜フックシート防水 [3.1.4][3.1.1][3.5.2][3.5.3][3.5.3]~[3.5.1]~[3.5.3]
防水改修工事	3 アスファルト防水 [3.1.4][3.1.1][3.5.2][3.5.3][3.5.3]~[3.5.1]~[3.5.3] 4 改質アスファルト防水 [3.1.4][3.1.1][3.5.2][3.5.3][3.5.3]~[3.5.1]~[3.5.3]
防水改修工事	3 アスファルト防水 [3.1.4][3.1.1][3.5.2][3.5.3][3.5.3]~[3.5.1]~[3.5.3] 4 改質アスファルト防水 [3.1.4][3.1.1][3.5.2][3.5.3][3.5.3]~[3.5.1]~[3.5.3]

備考	一級建築士事務所新潟県知事登録(ト)第1774号 上越市建築設計協同組合 管理建築士・一級建築士登録 第125068号 宮下 幸彦
----	---

組合審査	総括・一級建築士 第100046号 新潟一級設計組合事務所 青森 博
担当事務所長	基本 〇 兼通・設備 新潟一級設計組合事務所 青森 博
工事名称	市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事

図面名	市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事 建築改修特記仕様書(その1)
-----	--------------------------------------

縮尺	A 1版 - A 3版 -
整理分類番号	図面番号 ①電・衛・外 浄・厨・空 A-02 A-52 合計枚数 枚



5	8 鋼製軽量建具 (標準型鋼製軽量建具を含む)	簡易気密型ドアの性能値の適用は建具表による [5.5.2][5.5.6] 鋼板類の種類 [5.5.3] ・垂鉛めつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・ホー鋼板 ・ステン鋼板
	9 ステン製建具	簡易気密型ドアの性能値の適用は建具表による [5.4.2][5.6.2][表5.4.1] 外部に面する建具の耐風圧性 [5.4.2][5.6.2][表5.2.1] ・S-4 ・S-5 ・S-6
	10 木製建具	かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2) ふすまの種類 ・I類 ・II類 (表16.7.3) ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度 ・鳥の子 (表16.7.3) ふすまの縁の仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (表16.7.10)
	11 建具用金具	マスター ○製作する(1本) ※製作しない [5.7.4] 鍵札数量 ※錠前1組に2枚とする ・錠前1組に 枚とする かぎ箱 市販品 形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用 ・ 既存合わせとする
	12 自動ドア開閉装置	自動ドアの開閉機構 [5.8.3][表5.8.4] 開閉方法 引き戸用検出装置の種類 ※スイングドア ・電子マットスイッチ ・タッチスイッチ ※光線(反射)センサー ・スイングドア ・音波センサー ・熱線センサー ・光電センサー ・押しボタンスイッチ ・多機能トレススイッチ 凍結防止措置 ※行わない ・行う( ) [5.8.3]
	13 自閉式上吊り引戸装置	※適用する(適用建具及び適用位置は図示による) [5.9.1]
	14 重量シャッター	外部に面するシャッターの耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> [5.10.2] 開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2][表5.10.1] 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置等を設けた電動シャッターの [5.10.2] 設置箇所 ・図示 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ・設ける(設置箇所: ・図示) 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.10.2]
	15 軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・上部手動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] 外部に面するシャッターの耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> [5.11.2] スラット 厚さ(mm) ・0.5 ・0.6 ・0.8 ・1.0 [表5.11.2] 材質 ※塗装溶融亜鉛めつき鋼板又は鋼帯 [5.11.3] 形状 ※インターロック形 ・オーパレーション形 [5.11.4] ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステン製 SUS304(厚さ1.5mm) [表5.11.2] シャッターケース 厚さ(mm) ・0.4 ・0.8 [表5.11.2]
	16 オートヘッドドア	[5.12.2][5.12.3][表5.12.1] セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレール ※ステールタイプ ※ハンドル式 ・スタンダード形 ・溶融亜鉛めつき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ※ステン鋼板(SUS304) ・ファイバーグラスタイプ ・電動式 ・バリエーション形 ・バリエーション形 耐風圧性能による区分 ・50 ・75 ・100 ・125 [5.12.2]
	17 ガラス	下記以外は、建具表による [5.13.2] ・合わせガラス 特性による種類 ※II-1類 ・強化ガラス 材料板ガラスによる種類 特性による種類 ・フロート強化ガラス III類(曲面はI類) ・型板ガラス ・熱線吸収板ガラス 材料板ガラスによる種類 色調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・グリーン ・熱線吸収網入り磨き板ガラス ・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・建具表による耐熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性、日射遮へい性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・熱線反射ガラス 品 質 反射皮膜面 材料板ガラスの種類 映像調整 ※熱線反射ガラス ※内面 ・外面 ・フロート板ガラス ※行わない ・高性能熱線反射ガラス ・内面 ・熱線吸収フロート板ガラス ・行う ・強化ガラス ・倍強度ガラス ・倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色調 ※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ
18 ガラス留め材	[5.13.2][表3.7.1] 建具の種類 種類 アルミニウム製及び樹脂製 ○シーリング材 ※スケット(FIX部はシーリング材) 鋼製及び軽量鋼製 ※シーリング材 ステンレス製 ※シーリング材	

5	19 ガラスロッキング	ガラスロック [5.13.5] 寸法(mm) 表面形状 性能等 呼び寸法 厚さ 色調 パターン 防火性能 耐火性能 ※クリア ※無し ※無し 壁用金属枠及び補強材 壁用金属枠の種類 規格及び補強材等 ※アルミニウム製 ・標仕16.2.3のガラス製建具の材料による 化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 シーリング材料 下表以外は改修標準表3.7.1による [5.13.5][3.7.2][表3.7.1] 被着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 耐久性による区分
	20 ガラス用フィルム	名称 種類 張り面 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り ・外張り 飛散防止率 95%以上 品質 JIS A 5759による
	6 ① 基本要項品質	[6.1.2] 特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤の樹脂成分の放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。
	2 改修範囲	[6.1.3] ・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 [6.1.3] ・天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 [6.1.3] ・天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示の範囲
	3 施工数量調査	[1.5.2] 下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。 ・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、フラスコ、ボード等の面 調査内容 ひび割れの幅及び長さ等壁面等に図示する。 タイル、タイル、フラスコの浮き部分を壁面に表示する。また、タイルの欠陥部分(タイル目地を含む。)を調査する。 仕上げ材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。 ・加工法による床・壁・天井改修箇所の下地材 調査内容 既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。 天井下地組の強度、腐朽状況を調査する ・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む)調査内容 建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。 ・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。 ・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したもについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。
	4 既存床の撤去及び下地補修	[6.2.2] ・ビニルシート等の撤去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地タイルとも(※図示の範囲) ・行わない(※図示の範囲) [6.2.2] ・合成樹脂塗りの床の材の除去工法 ・機械的除去工法 ※目荒工法 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6.2.2]
	5 既存壁の撤去並びに下地補修	[6.3.2][4.4.9] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 ・[4.4.9]タイル塗替え工法 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステン製フラスコを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。 ・図示
	6 木下地等	表面仕上げの種類 [6.5.1][表6.5.2] 表面仕上げの種類 適用箇所 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種

6	6 木下地等	「製材の日本農林規格」による製材 [6.5.2] 品 名 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 ・下地用針葉樹製材 ※2級 ・ ※A種 ・ B種 ・造作用針葉樹製材 ・ 上小節 ・小節以上 ・ ※A種 ・ B種 ・広葉樹製材 ※1等 ・ ※10%以下 ・ A種 ・ B種 「製材の日本農林規格」以外の製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 ( ) ・適用する ※A種 ・ B種 造作用材の場合 ・適用しない (※A種 ・ B種) ・樹種のうち杉は、上越地域産材を使用する(24追加特記による) 造作用集成材等 [6.5.2] 品 名 規格・品質 心材の樹種 化粧単板の樹種 見付け材面数 ・造作用集成材 ※1等 ・2等 ・ ・ ・化粧ばり造作用集成材 ※1等 ・2等 ・ ・ ・化粧ばり構造用集成材 ・1等 ・2等 ・ ・ 直交集成材 [6.5.2] 品 名 強度等級 種別 接着性能(使用環境) 樹種 ・異等級構成直交集成材 ・ A種 ・ A ・ B ・ ・ B種 ・ C ・ ・同一等級構成直交集成材 ・ A種 ・ A ・ B ・ ・ B種 ・ C ・ 合板等 [6.5.2] 品 名 板厚 接着の程度 樹種 防虫処理 ・普通合板 ※5.5mm ・ ※1類 ・ 2類 ・ ・適用する ・構造用合板 ※12mm ・ ・特類 ※1類 ・ ・適用する ・化粧ばり構造用合板 ・ ・特類 ・ 1類 ・ ・適用する ・天然木化粧合板 ・ ・ 1類 ・ 2類 ・ ・適用する 9 防虫・防蟻処理 防虫処理 ※行う(適用範囲 ※改修標準6.5.5(1)による ・図示) [6.5.5] 防蟻処理 ・行う(適用範囲 ) [6.5.5] 防蟻・防蟻剤はカビ・臭気等を含まない非有機リン系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。 防虫・防蟻処理の方法 工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。 ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。 薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 10 軽量鉄骨天井下地 屋外の場合の形式及び寸法 [6.6.3][表6.6.2] ※下表以外は、改修標準6.6.3及び表6.6.2による 下地材の間隔(mm) 施工箇所 野縁受、吊りボルト、インサート 野縁 中央部 周辺部 @900 @900 @300 庇裏、14階軒裏 ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を改修標準1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。 既存の埋込インサート ・使用する ○使用しない [6.6.4] あと施工ワカの引抜き試験 ・行う ○行わない [6.6.4] 屋外の場合の試験 荷重 ・400N ・ 箇所数 ・当該階において3箇所程度 ・図示 ふところが3mを超える場合の補強 ※図示 [6.6.4] 屋外の天井の補強 ※図示 ・改修標準6.6.4(11)による [6.6.4] 11 ビニル床シート張り [6.8.2] 種類 JISの記号 色 柄 厚さ(mm) ※コンパシジョンビニル床タイル ※FS ・ ※無地 ・ マーブ柄 ※2.0 ・単層ビニル床タイル ・複層ビニル床タイル ・置敷きビニル床タイル ・薄型置敷きビニル床タイル 12 ビニル床タイル張り [6.8.2] 種類 JISの記号 厚さ(mm) 備考 ※コンパシジョンビニル床タイル K T ※2.0 ・単層ビニル床タイル T T ・ ・複層ビニル床タイル F T ・ ・置敷きビニル床タイル F O A ・ ・薄型置敷きビニル床タイル F O B ・
	7 集成材	
	8 合板等	
	9 防虫・防蟻処理	
	10 軽量鉄骨天井下地	
	11 ビニル床シート張り	
	12 ビニル床タイル張り	

6	13 帯電防止タイル張り	[6.8.2] 種類 厚さ(mm) 性能 ・コンパシジョンビニル床タイル ※2.0 ・ 体積抵抗値(JIS K 6911による) ・コンパシジョンビニル床タイル ※4.0又は4.5 1.0×10 <sup>9</sup> Ω以下、又は、 ・ 漏洩抵抗値(JIS A 1454による) ・ 1.0×10 <sup>10</sup> Ω未満
	14 誘導用、注意喚起用床材	[6.8.2] 視覚障害者用タイル 適用箇所 種類 寸法(mm) 形状 屋内 ・塩化ビニル系 ※300×300 ・ プロテクター ・レジコンクリート系 ※300×300 ・ JIS T 9251 による ・磁器又はせっ器タイル ・ 屋外 ・コンクリート系 ※300×300×60 ・ 300×300×30 ・磁器又はせっ器タイル ・
	15 ビニル幅木	高さ(mm) ※60 ・ 75 ・ 100 [6.8.2]
	16 カーペット敷き	[6.9.1][6.9.2][表6.9.1] 種別 織り方 バイ形状 帯電性 色・柄等 ・A種 ・ケルトンカーペット ・カトパイル 人体帯電圧 ※単一色(無地) ・B種 ・ダブブルーカーペット ・ルーフパイル ※3kV以下 ・柄物(標準品) ・C種 ・アタシンスカーペット ・カト、ルーフ併用 ・
	17 合成樹脂塗床	[6.9.2][6.9.3][表6.9.2] タフテッドカーペット バイ形状 バイ長(mm) 工法 帯電性 ・カトパイル ※5.0~7.0 ・ ※全面接着工法 人体帯電圧 ・マルチレベルルーフ ※4.0~6.0 ・ ・ グリッド工法 ※3kV以下 ・レベルルーフパイル ※4.0 ・カト、ルーフ併用 ・ [6.10.3][表6.10.4~表6.10.8] 種別 仕上げの種類 ・弾性ウレタン樹脂塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑) ・厚膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防滑) ・薄膜型塗床
	18 フローリング張り	[6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.5][6.11.6][表6.11.1~表6.11.6] 品 名 樹種 等級・種別 板厚 工法 仕上塗装 ・フローリングボード1等 ・なら ・1等 ※15 ・ 釘留め工法 ・ 塗装品 ・フローリングボード2等 ・なら ・2等 ※15 ・ 接着工法 ・ 無塗装品 ・フローリングボード3等 ・なら ・3等 ※15 ・ 砂利埋込工法 ・ ・接着工法 ・ ・天然木化粧複合フローリング ・ ・ A種 ・ ※釘留め工法 ・ 塗装品 ・ B種 ・ 接着工法 ・ 無塗装品 ・ C種 ・ ・複合フローリング ・ かば ※18 ※のりくぎ併用 ・ 塗装品 (大型積層型) ・ ・ ・ビス留め ※無塗装品 現場塗装仕上げ ・行う(塗料: ) ・行わない [6.11.6]
	19 畳敷き	[6.12.2][表6.5.10][表6.12.1] 適用箇所 畳の種類 改修標準表6.5.10による床組 ・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種(※KT-III) ・ ポリエステルフォーム床下地 ・ C種 ・ D種(※KT-III) ・
	20 セッコウボード・その他のボード張り	[6.13.2][表6.13.1] 種類 厚さ(mm)・規格等 ・硬質木毛セメント板 ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・普通木毛セメント板 ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・けい酸カルシウム板 タブ2(無糸綿) ・ロックアップ化粧吸音板 ※フットタイプ(※9.0 ・ 12.0 ・ ) ・凹凸タイプ(※12.0 ・ 15.0) ((個)不燃) ・セッコウボード ・ 9.5(準不燃) ○)2.5(不燃) ○化粧無(トランプ仕様) ・化粧セッコウボード ○)9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ○化粧有(トランプ仕様) ・セージンセッコウボード ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(準不燃) ・強化セッコウボード ・ 12.5(不燃) ・ 15.0(不燃) ・難燃合板 ・普通合板 表板の樹種 ・ 板面の品質 ・ 厚さ ※図示 接着の程度 ・ 1種 ・ 2種 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない
	軽量鉄骨下地ボード・遮音壁の遮音シール材	[6.13.2] ※適用する ・適用しない ・セッコウボードの継目処理 [6.13.3][表6.13.5] 目地工法の種類 セッコウボードのエッジの種類 施工箇所 ・継目処理工法 ・チーパ ・ ベベル ・突付け工法 ・ ベベル ・ スクエア ・目透かし工法 ・ ベベル ・ カマ

⑥ 21 吸音材	[表6.13.1]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
内装改修工事	・ロケット吸音ボード1号	RW-B	※25	
	※ケラール吸音ボード32K	GW-B	※25	
②② 壁紙張り	[6.14.2]			
	施工箇所	壁紙の種類		防火性能の級別
23 モルタル塗り	[6.15.3]			
	モルタル	・現場調査材料 (モルタルは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による) ・既調合材料		
24 タイル	[6.16.3]			
	タイルの種類	形状寸法	耐凍害性	うわぐすり
25 フリーアークスロフ	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
26 可動間仕切	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
27 移動間仕切	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
28 トイレブース	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
29 階段滑止め	[6.15.5][表6.16.4][表6.16.6]			
	タイル張りの工法	※タイル接着剤張り		
備考	[6.15.5][表6.16.4][表6.16.6]			
	タイル張りの工法	※タイル接着剤張り		

⑥ 30 階段手すり	[表6.13.1]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
内装改修工事	・ロケット吸音ボード1号	RW-B	※25	
	※ケラール吸音ボード32K	GW-B	※25	
31 黒板及びホワイトボード	(20.2.8)			
	種類	区分	種類	寸法(mm)
32 室札	[6.15.3]			
	モルタル	・現場調査材料 (モルタルは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による) ・既調合材料		
33 ブラインド	[6.16.3]			
	タイルの種類	形状寸法	耐凍害性	うわぐすり
34 ブラインドボックス及びカーテンボックス	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
35 ロールスクリーン	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
36 カーテン及びカーテンレール	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
37 天井点検口	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
38 床点検口	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
39 くつふきマット	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
41 人研ぎ製流し等	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		

④ 41 屋内掲示板	[表6.13.1]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
内装改修工事	・ロケット吸音ボード1号	RW-B	※25	
	※ケラール吸音ボード32K	GW-B	※25	
42 しっくい塗り	(20.2.8)			
	種類	区分	種類	寸法(mm)
⑦ 塗装改修工事	[6.15.3]			
	モルタル	・現場調査材料 (モルタルは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による) ・既調合材料		
⑧ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの種類	形状寸法	耐凍害性	うわぐすり
⑨ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
⑩ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
⑪ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
⑫ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
⑬ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
⑭ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
⑮ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
⑯ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
⑰ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
⑱ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
⑲ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
⑳ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㉑ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㉒ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㉓ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㉔ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㉕ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㉖ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㉗ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㉘ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㉙ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㉚ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㉛ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㉜ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㉝ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㉞ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㉟ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㊱ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㊲ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㊳ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㊴ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㊵ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㊶ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㊷ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㊸ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㊹ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㊺ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㊻ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㊼ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㊽ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		
㊾ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの見本焼き	※行わない		
㊿ 耐震改修工事	[6.16.3]			
	タイルの試験張り	※行わない		

7 塗装改修工事	[7.11.2][表7.11.1]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
11 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)	[7.11.2][表7.11.1]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
12 ムル樹脂ニス塗り(UC)	[7.12.2][表7.12.1]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
13 オイルシンナー塗り(OS)	[7.13.2][表7.13.1]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
14 木材保護塗料塗り(WP)	[7.14.2][表7.14.1]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
8-1 耐震改修工事	[8.1.3][表8.1.1]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
2 鉄筋の種類	[8.2.1][表8.2.1]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
3 あと施工アーク	[8.2.4]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
4 セメントの種類	[8.2.5][表8.2.3]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
5 骨材の品質	[8.2.5]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
6 混和材料の種類	[8.2.5]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
7 鉄筋の継手	[8.3.4][表8.3.3]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
8 鉄筋の最小かぶり厚さ	[8.3.5][表8.3.6]			
	種類	記号	厚さ(mm)	
9 鉄骨の工作	[8.13.2]			
	種類	記号	厚さ(mm)	



Table with 4 columns: Item No., Item Name, Description, Reference. Rows include concrete types, reinforcement, welding, materials, and fasteners.

Table with 4 columns: Item No., Item Name, Description, Reference. Rows include reinforcement work, wall work, joint work, and painting.

Table with 4 columns: Item No., Item Name, Description, Reference. Rows include fire protection, wall repair, thermal insulation, and drainage work.

Table with 4 columns: Item No., Item Name, Description, Reference. Rows include material removal, thermal insulation, and waterproofing work.

備考
一級建築士事務所新潟県知事登録(ト)第1774号
上越市建築設計協同組合

組合審査
総務一級建築士
担当事務所長
工事名称
市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事

図面名
建築改修特記仕様書(その5)

縮尺
A1版 - A3版
R03.12

整理分類番号
図面番号
A-06
A-52
合計枚数
枚

10	① 公共事業労務費調査への協力	※協力する
	② 工事監理方式	共同監理 ・ 有り ○ 無し
	③ 適用基準等	・ 営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室） ※工事運行マニュアル（上越市都市整備部建築住宅課営繕室作成）
	4 総合図	※作成する
	⑤ 工事成績評定	※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

⑥ 工事区分表  
注)原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項 目		建	電	空	衛	昇	備	考
躯体関係								
1. RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリ-ブ材及び取付け	○	○	○	○	○	○	
	補強を要する型枠材及び取付け	○						
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
2. S・SRC造(はり貫通口)	貫通孔・開口部の補強	○						
	スリ-ブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○	○	
	S・SRC造貫通鋼管鋼管スリ-ブ・補強	○						
3. 設備機器の基礎	使用されたスリ-ブの穴埋め	○	○	○	○	○	○	
	予備スリ-ブの穴埋め	○	○	○	○	○	○	
	建築設計図に記入のあるもの	○						
	室内の基礎(建築設計図に記入のないもの)	○	○	○				
	屋上・屋上の基礎	○						
	屋上基礎で押さえコンにアカシない軽微なもの	○	○	○				
仕上げ関係								
軽鉄天井・壁下地	補強を用するボ-ドの切り込み及び下地の補強	○						
	補強を要しないボ-ドの切り込み	○	○	○				
	開口部の墨出し	○	○	○				
電気関係								
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)			○	○			二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○					一次側
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線		○	○				
その他(工事区分を特に間違えやすい項目)								
天井材	取外し再取付(各種配管配線作業用)	○	△	△	△			小規模は要協議
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△			小規模は要協議
流し台、ガス台		○						
便所手洗いカウンター		○						衛生陶器は衛生設備
洗面化粧台							○	
ガス漏れ警報器							○	
24H換気扇	機器納入						○	取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○					機器納入は衛生設備
湯沸器	機器納入						○	取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○					機器納入は衛生設備

⑦ 発生材の処理等 [1.3.12]

1 再生資材の利用  
下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2 建設発生土の利用  
盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3 建設発生土の搬出  
工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名/施設名称	
工事場所/施設所在地	
連絡先	
仮置場所の有無	
備考	

10	④ 建設廃棄物の搬出 工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。
搬出する廃棄物名	産業廃棄物：廃油類、廃ﾌﾞﾗｯｸ、がｽ、がれき屑、廃石膏ﾎｰﾄﾞ類 再生可能材：ｺﾝｸﾘｰﾄ(砕石)、鉄、金属屑
処理施設名称	最寄りの処理施設
施設所在地	
連絡先	
備考	

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

⑤ 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

⑥ 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

⑦ 協議について  
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

8 化学物質の濃度測定	<p>1)測定時期 [1.6.9] 測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調設備のように入れ換気を行いながら空調調を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。 測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。 ※ 測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6)の措置を講じる時間を見込むこと。</p> <p>2)測定対象物質 ※ホルムアルデヒド (指針値0.08ppm以下) ※トルエン (指針値0.07ppm以下) ※キシレン (指針値0.05ppm以下) ※エチルベンゼン (指針値0.08ppm以下) ※スチレン (指針値0.05ppm以下) ・パラジクロロベンゼン (指針値0.04ppm以下)</p> <p>3)測定室 ・ 室 (測定箇所 箇所) ・ 室 (測定箇所 箇所) ・ 室 (測定箇所 箇所) ・ 室 (測定箇所 箇所)</p> <p>4)測定方法 測定機器 ※パッシブ型採取機器 ・ 監督員の承諾する機器 測定要領 (パッシブ型測定法の場合) ※ 測定前の措置 測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉 (造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。)を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。 ※ 測定は次のイ～ハによる。 イ 上記測定前の措置の状態のまま測定する。 ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 ※ その他 上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空調設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。 ※ 測定結果の分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。</p> <p>5)測定結果が指針値を超えた場合の措置 ※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4)、5)により、測定を行う。</p> <p>6)報告書の提出 ※完了検査日までに報告書を提出する。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了までに測定結果速報を監督員に提出する。</p>
-------------	---

10	⑨ アスベスト含有の建材	※アスベスト含有の建材は使用しない。 ただし、やむを得ずアスベスト含有建材を使用する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。
	⑩ 建設工事における市内下請及び資材発注について	<p>1 下請発注について 受注者は本建設工事の施工に当たり、工事の一部を下請企業に請け負わせて施工しようとする場合には、下請企業を上越市内企業の中から選定するよう努めるものとする。</p> <p>2 建設資材発注について 受注者は本建設工事の施工に当たり、建設資材を発注しようとする場合には、納入企業を上越市内企業の中から選定するよう努めなければならない。また、上越市産資材がある場合には、他に優先して使用するよう努めるものとする。</p>

⑪ 火災保険等  
建設工事請負約款第51条に基づき、受注者は工事的物及び工事材料(支給材料を含む)等を下記により火災保険、建設工事保険その他の保険(これに準ずるものを含む)に付すものとする。  
1 保険の種類  
保険の種類別は、下記のいずれかとする。  
1) 普通火災保険契約 2) 火災建築保険契約 3) 建設工事保険契約 4) 組立保険契約  
2 保険の対象  
工事的物及び工事材料(支給材料を含む)に火災保険を付すものとする。工事的物:工事出来高見込額相当分とする。工事材料:現場に搬入した検査済み工事材料とする。支給材料:受注者に引渡し済み支給材料。  
但し、工事内容で基礎工事及び屋外工作物等については、保険に付す対象から除外することができる。また、継続工事での前回施設部分及び改築工事(修繕、改修、模様替え等を含む)での既製建築部分は保険契約の対象としない。  
3 保険の時期、期間、金額 加入期間及び金額は、受注者が下表により選択できる。

保険の種類	・ 普通火災保険 ・ 火災建築保険 ・ 建設工事保険 ・ 組立保険
付保の除外	・ 杭工事 ・ 地中埋設物
付加の時期	中間金請求前
保険の期間	引渡日迄
保険対象額	工事の請負金額から付加の除外部分の額を控除した金額以上の額

⑫ 建設副産物の利用・搬出実績  
請負金額が100万円以上となる工事については、建設副産物の利用・搬出実績を把握するため、再生資源利用[促進]計画書[実施書](国土交通省ホームページよりダウンロード可能)を作成し、CDにて提出する。

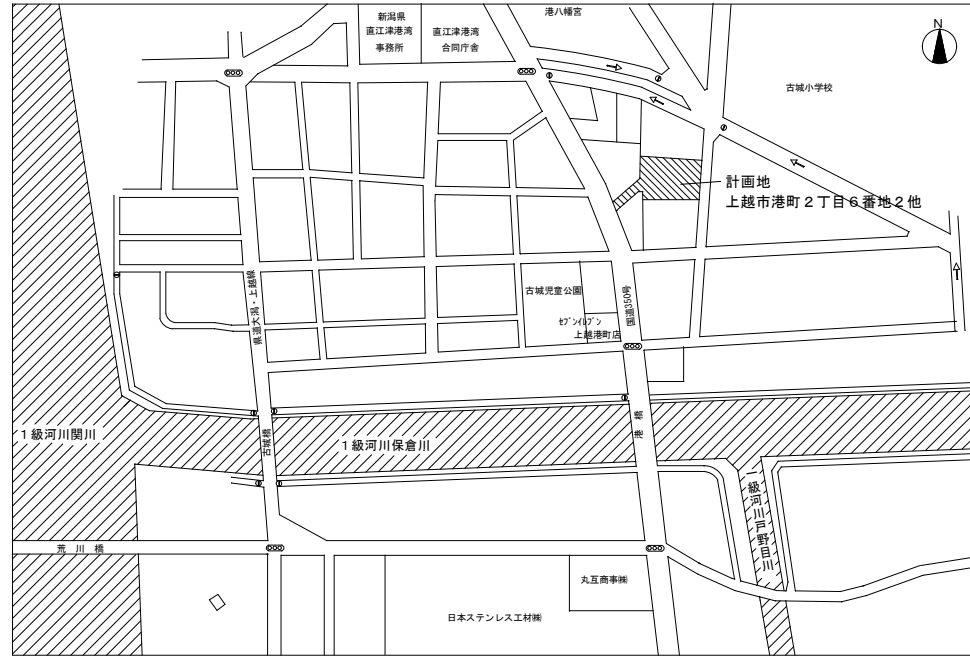
⑬ CADデータ  
設計図CADデータは、当該工事以外での使用を禁止する条件で、無償貸し出しする。

⑭ 安全対策  
○ 施設を使用しながらの工事であるため、適切な安全対策を行い施工すること。  
○ 工事範囲への立ち入り禁止措置を行うこと。  
・ 外部足場には、全面に養生シート(ネット状)を設置すること。  
○ 騒音、振動、粉じん対策を行い施工すること。  
(工法の検討、作業範囲の囲い、設備の設置等)  
○ 工事に先立ち、必要に応じて周辺住民に対して工事説明を行うものとする。

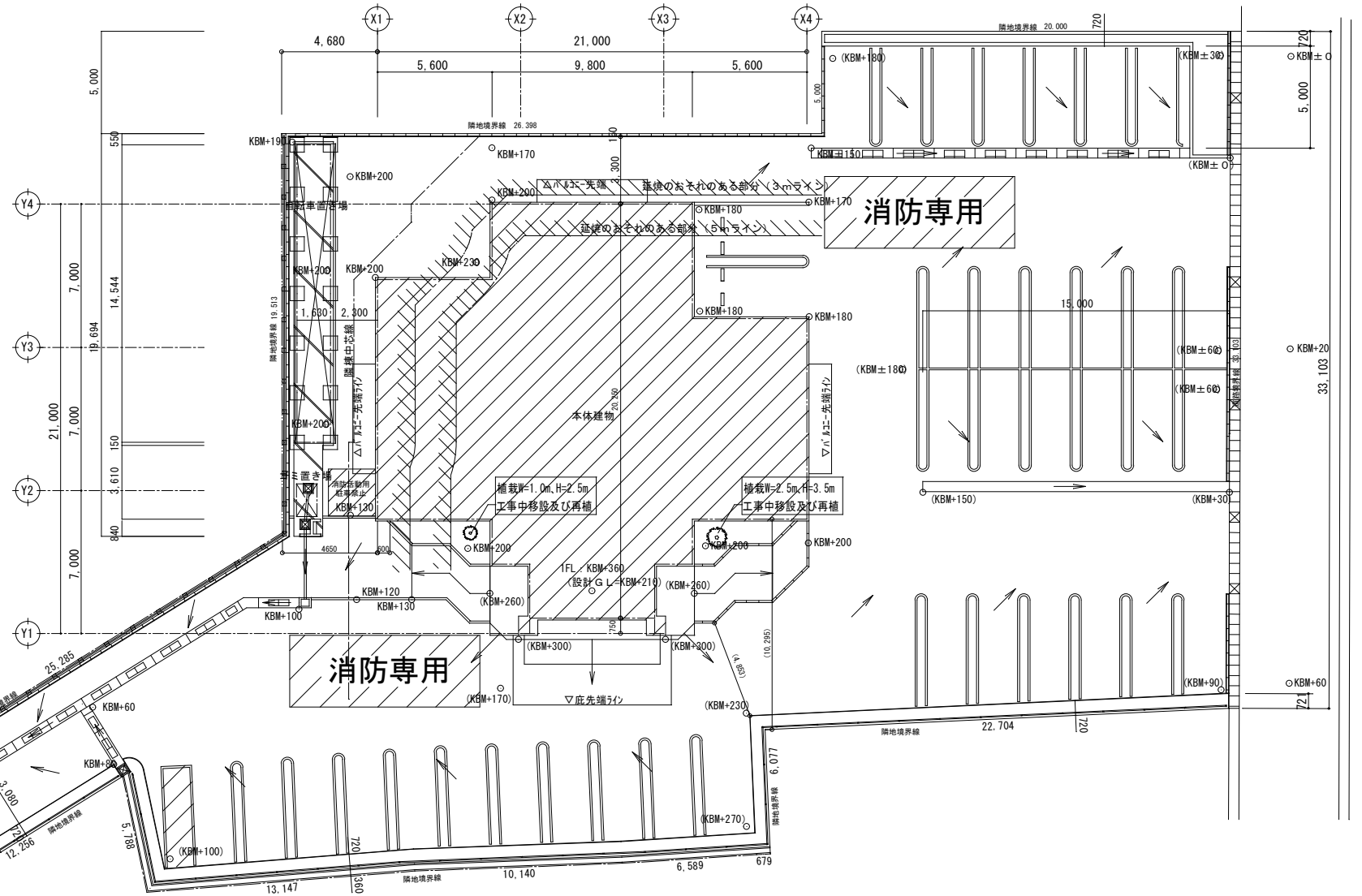
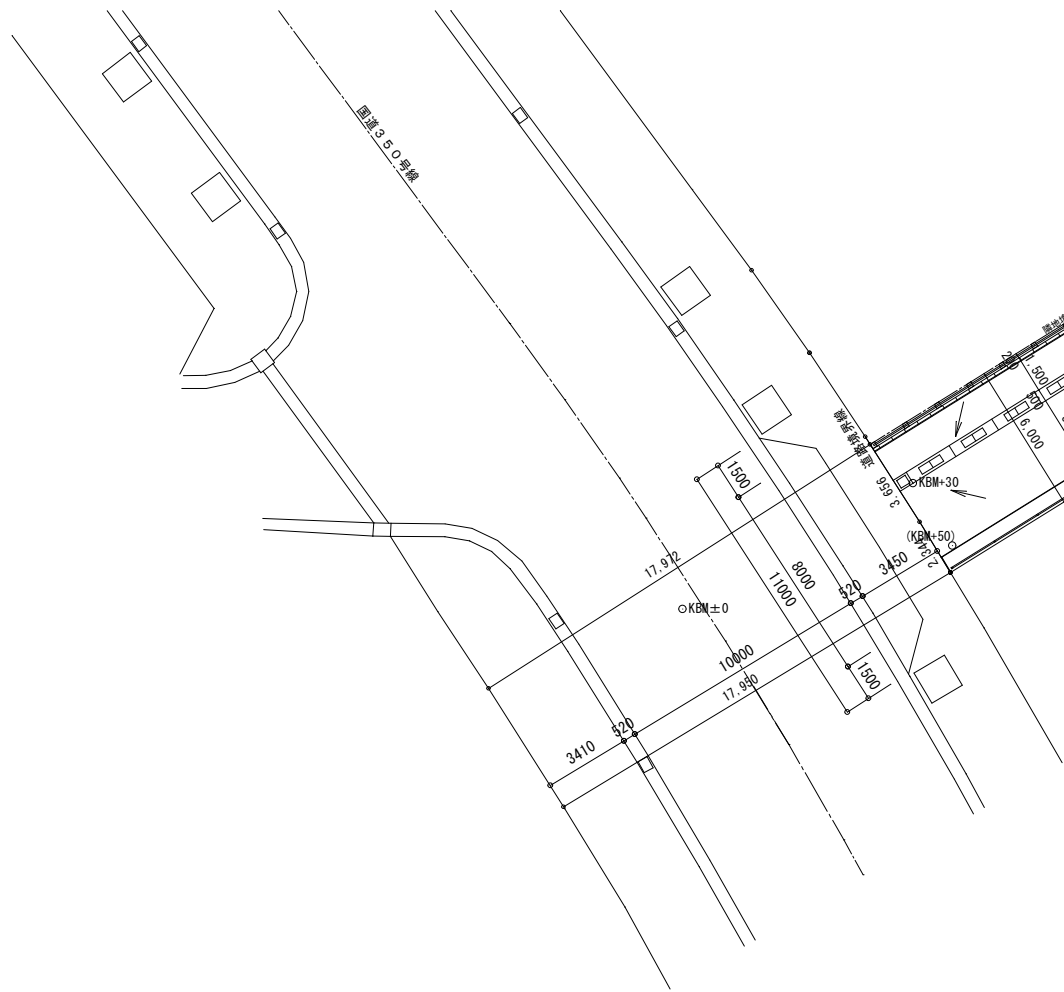
⑮ アスベスト含有建材の処理について(外壁改修工事)  
外壁調査の結果、外壁塗材にアスベストが含有されているため、次のとおり処理すること。  
該当作業  
※脆弱塗膜部除去作業 改修建具廻り一部  
※既存シーリング撤去作業(外壁塗材付着部のみ)  
・  
・  
追加処理方法  
※アスベスト除去作業に伴う法定掲示板作成、設置及び立入禁止措置  
※HEPAフィルター付集塵機、防護服及び防護マスク使用  
※作業範囲の床面のビニルシート養生  
※作業足場の全面メッシュシート養生  
※集塵材の管理型最終処分場での処理  
※既存シーリング撤去において、外壁塗材の付着箇所の集塵装置併用による手工具での撤去  
※旋転できる保管庫の設置及び除去したアスベスト含有物の保管庫での管理  
上記以外については、「改修標準」9.11による

⑯ 木材利用推進  
・ 本工事に使用する木材のうち、杉は「上越地域産材」を使用する。  
ただし、止むを得ない監督員が認めた場合は「新潟県産材」とすることができる。(上越地域産材とは上越市・妙高市地域における森林から生産された木材をいう)

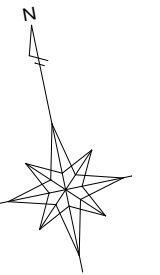




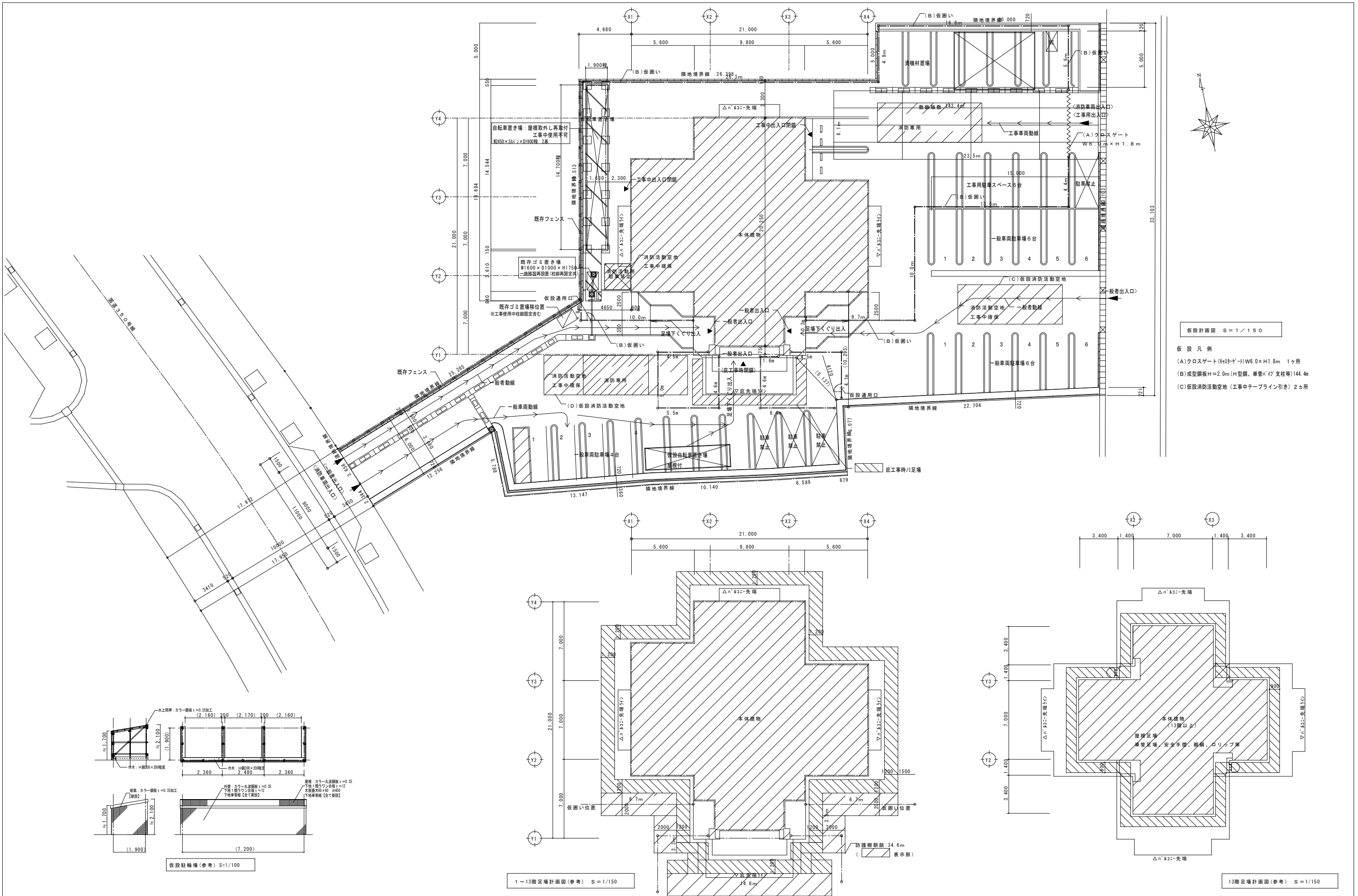
案内図



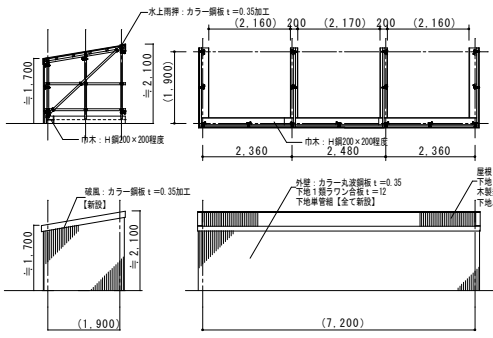
配置図 S = 1 / 150



備考	一級建築士事務所新潟県知事登録(ト)第1774号	組合審査	総括・一級建築士	担当事務所長	工事名称	図面名	縮尺 A1版 1/150 A3版 1/300 年月日 R03.12	整理分類番号	図面番号
	上越市建築設計協同組合 管理建築士・一級建築士登録第125068号 宮下幸彦		第106046号 衛生一設計総合事務所 斉藤博	基本・構造・設備 衛生一設計総合事務所 斉藤博					市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事



- 仮設計画図 S=1/150
- 仮設凡例
- (A) クロスゲート (H×W) W6.0×H1.8m 1ヶ所
  - (B) 成型鋼板 H=2.0m (H型鋼、単管φ7支柱等) 144.4m
  - (C) 仮設消防活動空地 (工事中テーパーライン引き) 2ヶ所



仮設駐輪場(参考) S=1/100

1~13階足場計画図(参考) S=1/150

13階足場計画図(参考) S=1/150

備考	一級建築士事務所新潟県知事登録(ト)第177号 上越市建築設計協同組合 管理建築士・一級建築士登録第125068号	号組合審査 第106046号	総括・一級建築士 基本(意)・構造・設備 所和第一設計総合事務所 斉藤博(印) 斉藤博(印)	担当事務所長 市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事	図面名 仮設計画図	縮尺 A1版 1/150 A3版 1/300 1/100 1/200	整理分類番号 R03.12	図面番号 ④・電・衛・空 A-09 A-52	合計枚数 枚
----	---	-------------------	---	------------------------------	--------------	--	------------------	---------------------------------	-----------

設計概要

一般事項	改修建築物概要				改修工事概要				外壁劣化部の改修内容	
工事名称	市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事				外部工事				外壁改修に伴う設備工事	
工事場所	市営港町2丁目 地内				・屋根葺き材、雪止め、樋、軒先、軒裏の見えかかりは塗装改修				・ひび割れ部改修	
(建築基準法関連)	構造 SRC造一部S造 (13階3層屋根部分)				階数 地上14階建て				・玄関ポーチ庇の照明設備の改修	
建物用途	(公営住宅)共同住宅				敷地面積 1,796.64 m <sup>2</sup>				・太陽光発電設備は1階室内機器、	
工事種別	外部改修工事				最高の高さ 48.60 m				・浮き部改修	
都市計画区域の別	都市計画区域(◎・外) ○市街化区域 ・市街化調整区域 ・指定なし				最高の軒高 48.20 m				・付着物清掃	
用途地域	工業地域				各階面積				・躯体欠損部分	
防火地域	・防火地域 ・準防火地域 ・指定なし ○去2.2条地域				14階床面積 107.91 m <sup>2</sup>				・鉄筋露出部分	
その他の地域地区	指定なし				9階床面積 295.96 m <sup>2</sup>				・躯体欠損部分	
					4階床面積 295.96 m <sup>2</sup>				・浮き部補修0.2本/m <sup>2</sup> (832本) ・ひび割れ部改修0.1m/m <sup>2</sup> (416m)	
					3階床面積 295.96 m <sup>2</sup>					
					2階床面積 295.96 m <sup>2</sup>					
					1階床面積 309.05 m <sup>2</sup>					
					建物本体床面積計 3863.76 m <sup>2</sup>					
					建物本体建築面積 347.26 m <sup>2</sup>					
					工事対象外 述べ床面積 0.00 m <sup>2</sup>					
					工事対象 述べ床面積 3887.47 m <sup>2</sup>					
					建築面積 370.97 m <sup>2</sup>					
					駐輪場 23.71 m <sup>2</sup>					
					延床面積 3887.47 m <sup>2</sup>					
					建築面積 370.97 m <sup>2</sup>					

外部仕上表

工事部位	範囲・場所	現況	改修工法		下地	仕上	備考(外部金物等)	範囲・場所	工事部位
			現況のまま	撤去					
ポーチ	床	磁器質タイル300角貼り	既況のまま			高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)による洗浄	点字誘導ブロック:32点プレート 300×300×10既存のまま	床	ポーチ
		下地:コンクリート金ゴテ					タイル製玄関マット(一般歩行用)SUS304 1,200×600 タイル受枠共 既存のまま		
ポーチ庇	屋根	カラーステンレス溶接工法(SUS304) フラスト=0.4+タタキワタ=4.0	下地:既存のまま		高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)	DP塗装仕上(弱溶剤系2液型屋根用フッ素樹脂塗料2回塗)	雪止めフック:ステンレス製 50×50 t=4.0取外し再取付	屋根	ポーチ庇
		下地:75mm厚F-フィン'22kg+耐火木毛セメント板t=25			下地調整:錆汚れ、付着物の除去の上研磨処理	(軒先唐草共)	DP塗り(1級)フッ素樹脂 下地調整:RB種 錆止め塗装B種(エポキシ系)		
破風鼻隠し	ステンレス製t=0.40加工品 側面H300	下地:既存のまま			下地調整:錆汚れ、付着物の除去の上研磨処理		壁面取合水切り:ステンレス製 フラスト=0.4加工品 シーリングMS-2 15×10程度撤去新設	軒先(ケル)	
		下地:木板t=30			下塗り:弱溶剤系変成エポキシ樹脂プライマー(軒先唐草共)		DP塗り(1級)フッ素樹脂 下地調整:RB種 錆止め塗装B種(エポキシ系)		
庇屋根吊受材	165.2φ×4.5 2液型エポキシ樹脂塗装				錆止め処理:常温亜鉛メッキ塗装	上塗り フッ素樹脂系塗料塗仕上		庇屋根吊受材	
					素地調整RA種(全面錆除去)	中塗り 弱溶剤系変成エポキシ塗料塗り			
軒裏	ケル酸加アルミ板t=6.0横桎(エポキシEP塗) EP塗 廻り縁:塩ビ製	ケル酸加アルミ板撤去、廻り縁撤去		LGS下地25型@300新設(インサート共)	75mm厚タタキワタ貼りt=1.0新設 巾100電解着色ワタ押出成型 廻り縁:75mm新設(ステンレス製)		軒裏		
		下地 LGS25型	下地 LGS25型(インサート共)						
軒樋	ステンレス高耐候性樹脂被覆品	取外し再取付			高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)による洗浄		軒樋		
屋根	屋根葺き材	カラーステンレスt=0.45 平滑仕上げ工法 (元且F-フィン' (株))			高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)	DP塗装仕上(弱溶剤系2液型屋根用フッ素樹脂塗料2回塗)	雪止めフック:ステンレス製 50×50 t=4.0取外し再取付	屋根葺き材	屋根
		棟包み、頂部納め、谷カバーカラーステンレスt=0.45			下地調整:錆汚れ、付着物の除去の上研磨処理	(棟包み、頂部納め、谷カバー共)	DP塗り(1級)フッ素樹脂 下地調整:RB種 錆止め塗装B種(エポキシ系)		
下地材	バックアップ材:木毛セメント板t=25	既存のまま					下地材		
		野地板:木毛セメント板t=40の上 下葺き材:75mm厚F-フィン' 940	既存のまま						
軒先(ケル)お	カラーステンレスt=0.45加工品				高圧水洗浄(15Mpa程度) 下地調整:錆汚れ、付着物の除去の上研磨処理	DP塗装仕上(弱溶剤系2液型屋根用フッ素樹脂塗料2回塗)	軒先(ケル)お		
					下塗り:弱溶剤系変成エポキシ樹脂プライマー				
軒樋・谷樋	ステンレスt=0.4コ型加工品 W250×H130 落し口8カ所				下地調整RC種	溶剤による錆おとし処理仕上	樋		
堅樋	カラー塩ビ製φ75 受金物共	堅樋:カラー塩ビ製75φ支持金物共撤去			堅樋:カラー塩ビ硬質塩化ビニール管75φ 支持金物:ステンレス@2000新設	13階樋受石:取外し再取付12カ所	堅樋		
地覆	コンクリート打ち放し補修				下地処理:劣化部補修(ケル等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上	上塗り:高耐候性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑仕上げ	地覆		
					素地調整 下地調整塗材:可とう形改修塗材RE(エポキシ系)0.8kg/m <sup>2</sup> 以上	さざ波状(ローラー)模様塗り			
外壁	1階~12階 コンクリート打放面	防水型外装薄塗材E 多機能型単層弾性仕上塗材	吹付面30目地シーリング25×15程度	75mm厚タタキワタ撤去処理(タタキ)	※建具撤去まわりのみ	上塗り:高耐候性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑仕上げ	換気金物 外部ステンレス製100φ 丸型ケル 雨水吹込部は防雨フード付に撤去・新設、設計では全数1/3(25ヶ所程度)	外壁	1階~12階 コンクリート打放面
		下地:打ち放し補修の上、素地調整	吹付面打継目地シーリング25×15程度	下地処理:劣化部補修(ケル等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上	30目地シーリング:PU-2、25×15程度、打継目地シーリング PU-2、25×15程度【新設】	既存のこりは溶剤による錆おとし処理仕上げ(下地処理RC程度)設計では全数2/3(51ヶ所程度)※工事時調査調整			
		※コンクリート打放面一アスベスト含有仕上塗り材	耐震スリット目地シーリング25×20程度	素地調整 下地:可とう形改修塗材RE(エポキシ系)0.8kg/m <sup>2</sup> 以上	耐震スリット目地シーリングPU-2、25×20程度【新設】	内部樹脂製100φ 丸型レジスター 撤去・新設(68ヶ所)	1階住居表示撤去新設、表示板(津波避難)取外し再取付		
				さざ波状(ローラー)模様塗り					
13階、14階 押出成形板面	防水型外装薄塗材E 多機能型単層弾性仕上塗材	30目地シーリング10×10程度	下地処理:高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上	上塗り:高耐候性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑仕上げ	避難75mm厚タタキワタ 梯子:75mm合金製 貫通又はフック@M10(SUS製)壁面固定止め	13階、14階 押出成形板面			
		下地処理:素地調整	30目地シーリング15×10程度	素地調整 下地調整塗材:可とう形改修塗材RE(エポキシ系)0.8kg/m <sup>2</sup> 以上	スリット(凸凹模様部):同上塗料仕上げ(剛毛塗り等)				
		※押出成形板面一アスベスト含有無し仕上塗り材		さざ波状(ローラー)模様塗り	30目地シーリング:10×10程度 30目地シーリング15×10程度 MS-2(耐油性タイプ)新設	換気金物 外部ステンレス製100φ 丸型ガラリ 撤去・新設と既存残しは下階に準じ調整			
				スリット(凸凹模様部)は下地調整塗材:2液弱溶剤形タタキ樹脂系浸透シー-		内部樹脂製100φ 丸型レジスター 撤去・新設(4ヶ所)			

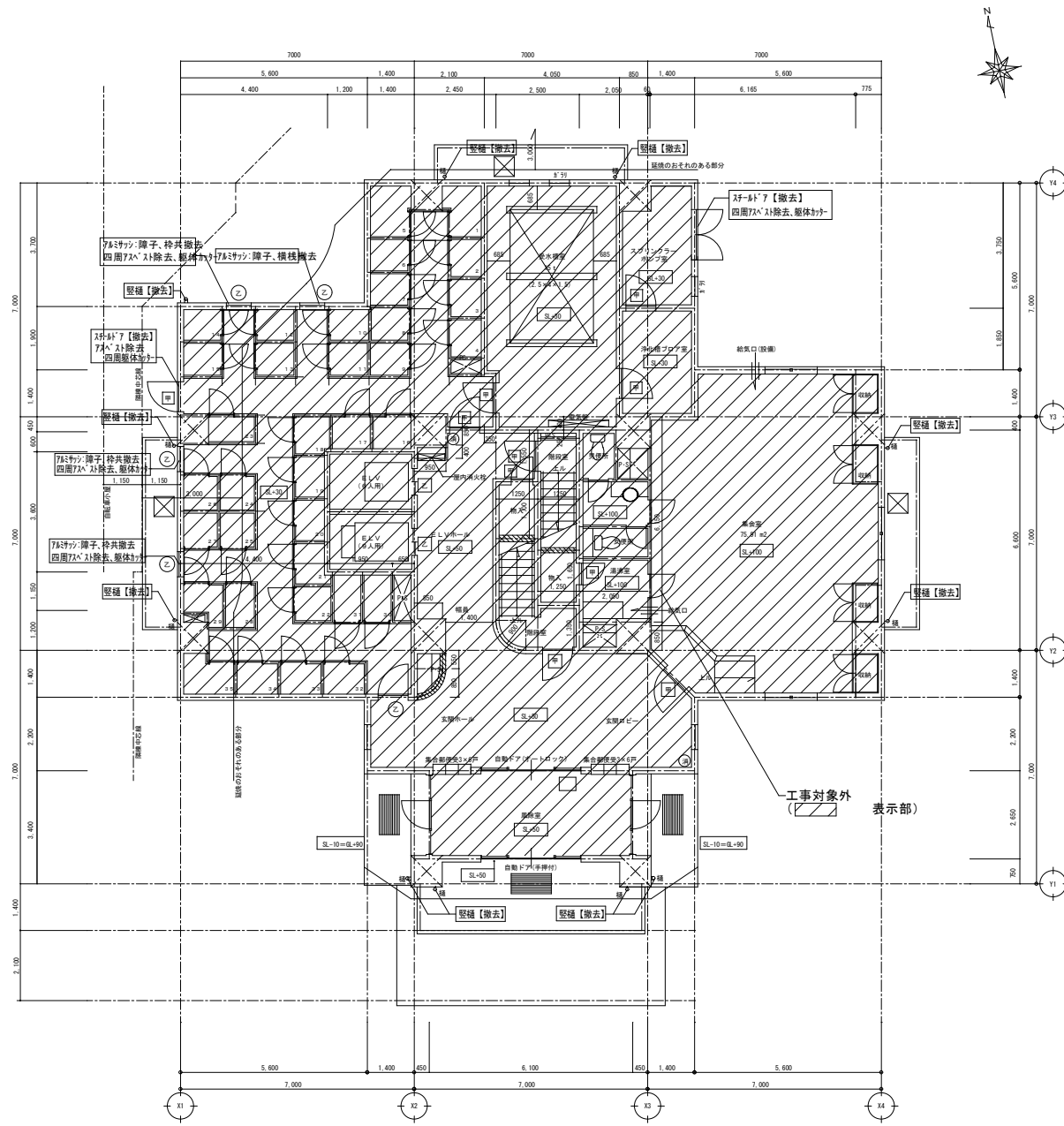
※可とう形改修塗材RE(下地調整・下塗り・中塗り)

換気金物外部防雨フード参考品番 杉田株式会社  
スーパースリムフード強制換気用  
SHE(防火ダンパー無) SHED(防火ダンパー付)

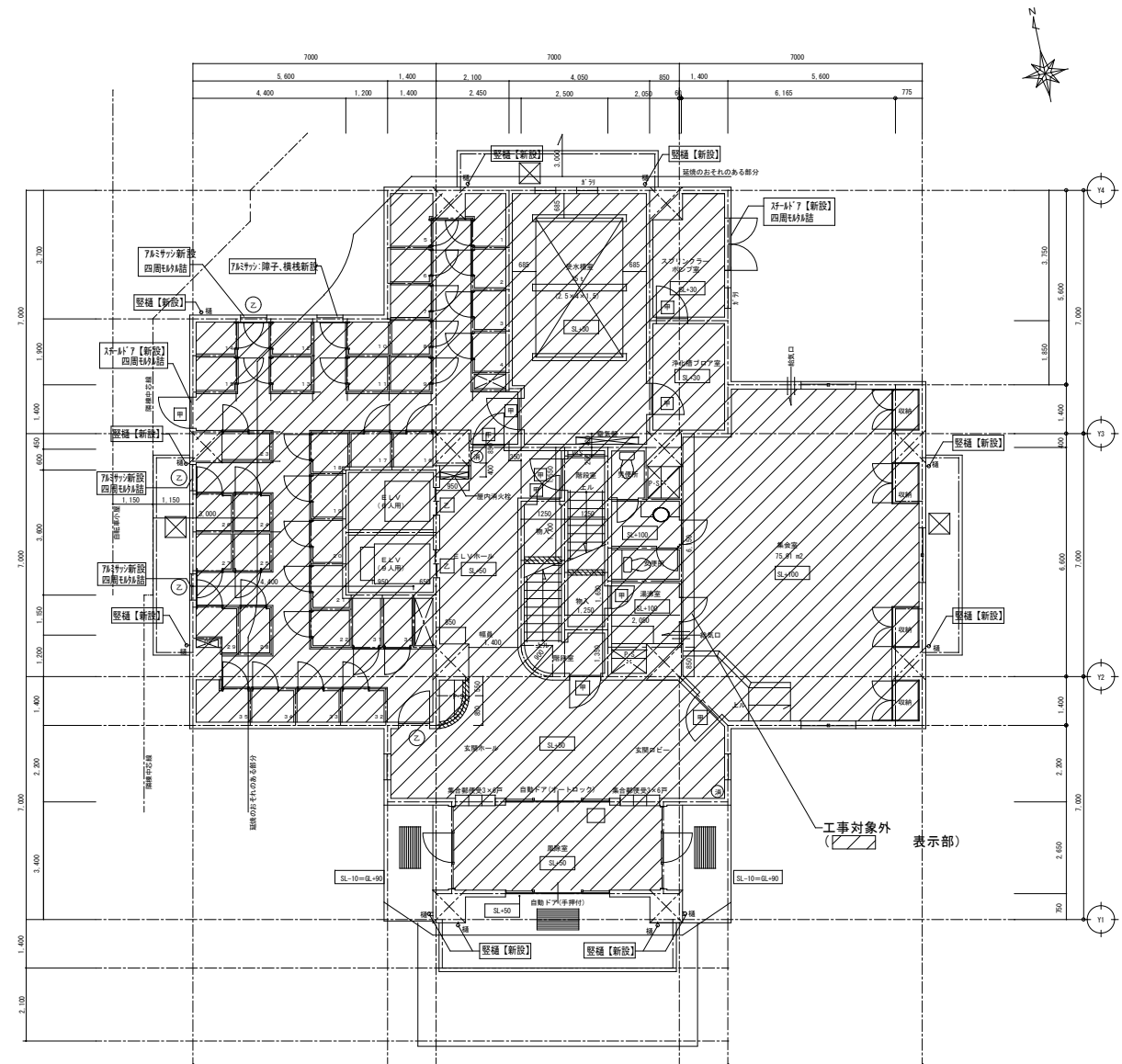
備考	一級建築士事務所新潟県知事登録(ト)第1774号	組合審査	経括・一級建築士	担当事務所長	工事名称	図面名	縮尺 A1版 — A3版 — 年月日 R03.12	整理分類番号	図面番号 ⑩・電・衛・空 浄・厨・外 合計枚数
	上越市建築設計協同組合 管理建築士・一級建築士登録第125068号 宮下幸彦		第106046号 南第一設計総合事務所 斉藤博	基本(電)構造・設備 南第一設計総合事務所 斉藤博	市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事	【改修前・後】設計概要・外部仕上表(1)			A-10 A-52 枚

外部仕上表

工事部位	範囲・場所	改修工法				工事部位			
		現況	撤去	下地	仕上				
ハコニ立上	立上り壁内外	防水型外装薄塗材E 多機能単層弾性仕上塗材		下地処理：劣化部補修(ｸﾞﾗｯｸ等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上	上塗り：高耐候性樹脂塗料(シリコン系) ローラー塗り平滑仕上	手摺アルミH=150 手摺60×40程度 支柱(50×50) @1200内外アンカー止め(既存のまま)	立上り壁内外(外壁と同じ)	ハコニ立上	
		下地：打ち直し補修の上、素地調整 ※コンクリート打放面→アスベスト含有仕上塗材		素地調整 下地調整塗材：可とう形改修塗材RE(ﾎﾟﾘｼﾞｪﾙ系)0.8kg/㎡以上 さざ波状(ローラー) 模様塗り	30目地ｼｰﾘﾝｸﾞ：PU-2、25×15程度、打雑目地ｼｰﾘﾝｸﾞ PU-2、25×15程度【新設】				手摺アルミ製H=500 横格子ﾀｲﾌﾟ25×25@100 支柱(50×50) @1200内外アンカー止め (手摺そのまま取付けﾍﾞｰｽ撤去新設)
	南面ｸﾞﾗｰｽﾞﾊﾞﾙｺﾆ	ﾊﾞﾙｺﾆ受支柱：SUS[-80×40×5及び40×40×5合せ止め@810 受けSUS、PL-6溶接	手摺及びﾊﾞﾙｺﾆは既存のまま		ﾊﾞﾙｺﾆ受支柱、固定受材：下地調整RC種	ﾊﾞﾙｺﾆ受支柱、固定受材：溶剤による錆おとし処理仕上	ｸﾞﾗｰｽﾞﾊﾞﾙｺﾆ(電氣工事)ﾊﾞﾙｺﾆ裏目隠し板：ﾌﾟﾗｽチック製t=2.0 支柱ﾊﾞﾙｺﾆ止めM4@229		
		支柱固定受材：SUS、2L-40×40×5 ﾎｰﾙﾌﾟﾗｰﾄﾞ2×2-M10 手摺：SUS口-100×50×2 カバー：笠木ﾌﾟﾗｽチック加工品 2階ﾌﾟﾗｽチック塗装仕上(想定)、3～12階ｸﾞﾗｰｽﾞﾊﾞﾙｺﾆ(電氣設備)ﾎﾞﾙﾄ止め 両端はﾊﾞﾙｺﾆﾊﾞﾙｺﾆ板t=6貼 下地SUS角材受(想定)		両端はﾊﾞﾙｺﾆﾊﾞﾙｺﾆ板t=6貼 既存のまま	2階ﾌﾟﾗｽチック取付ﾍﾞｰｽ撤去	2階ﾌﾟﾗｽチック：下地調整、下地り(エポキシ系)	2階：ﾌﾟﾗｽチック：DP塗替え(1級)ﾌｯｼﾞ樹脂 取付ﾍﾞｰｽ新設	目隠し板：取外し再取付 溶剤による錆おとし処理仕上 取付ﾍﾞｰｽは撤去新設	
ハコニ立上木	7mm笠木ｶﾞﾗｽ(W285前後 既製品巾) 外壁側立上水切 シｰﾘﾝｸﾞ(20×10程度)		取外し再取付 立上水切取外し 同ｼｰﾘﾝｸﾞ(20×10程度)撤去			手摺アルミ製H=980 縦格子ﾀｲﾌﾟ25×25@100 支柱(50×50) @1200内外アンカー止め (取外し再取付、取付けﾍﾞｰｽ撤去新設)	14階		
ハコニ床	13階	ｸﾞﾗｰｽﾞﾊﾞﾙｺﾆ防水(立上り共) 保護防汚ｼｰﾄt=2.5(平場のみ)	ｼｰﾄふくれ、はがれ部切開撤去又は再接着	劣化調査、高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)	保護防汚ｼｰﾄ敷t=2.5新設(歩行用)(平場のみ立上り除く)	ﾊﾞﾙｺﾆ-隔板：アルミ製枠1050×2000 ケイカル板塗装品 t=5 避難通路ｼｰﾙ共	13階	ハコニ床	
		防水端末水切取外し シｰﾘﾝｸﾞ(20×10程度)		(※既存面との浮きを含め劣化状況は全面積の1/4(50.4㎡程度)	切開撤去部下地処理：樹脂ﾎﾟﾘｼﾞｪﾙ補修の上下地調整塗材塗	下地りﾍﾞｯﾄﾙｰﾌ防水(立上り共) 新設(歩行アンカー固定工法)			取付金物：L型ﾌﾟﾗｽチック製ﾀｲﾌﾟ6ヶ所
				保護防汚ｼｰﾄt=2.5撤去		防水端末水切取外し 同ｼｰﾘﾝｸﾞMS-2(20×10程度)新設			
14階、基準階 下屋根	ｸﾞﾗｰｽﾞﾊﾞﾙｺﾆ防水防汚仕上(立上り共)	塗装ふくれ、はがれ部撤去、ひび割れ部Vｶｯﾄ撤去	劣化調査、高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)	環境対応型ｸﾞﾗｰｽﾞﾊﾞﾙｺﾆ防水X-2かぶせ工法(歩行用、標準ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ仕上)(10年保証)新設(既存重塗り)	南面は防水ｱﾝｸﾞﾙ(25角程)撤去新設	14階、基準階			
	下地：ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾗ	(※既存面との浮きを含め劣化状況は全面積の1/4(177㎡程度)	下地処理：樹脂ﾎﾟﾘｼﾞｪﾙ補修、ひび割れ部ｼｰﾘﾝｸﾞ処理の上下地調整塗材塗	種別-工事は層間接着用ﾌﾗｲﾏｰ塗布の上ｸﾞﾗｰｽﾞﾊﾞﾙｺﾆ防水材塗り2回+仕上塗料塗り仕上					
	防水端末ｼｰﾘﾝｸﾞ(20×10程度)	防水端末ｼｰﾘﾝｸﾞ(20×10程度)撤去	防水端末ｼｰﾘﾝｸﾞMS-2(20×10程度)新設						
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ	2～12階、14階	鋳鉄製75φ タテ及びｺﾞｺﾞ引き用 塗装防水用	ﾀﾞﾂ引き用	ｺﾞｺﾞ引き用 ﾏｲﾑｰﾅ、中皿撤去、四周研り共	改修用ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ75φ(非鉛製) ﾕｺ引き用 新設	ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ			
	13階	鋳鉄製75φ タテ引き用 シｰﾄ防水用		ﾀﾞﾂ引きｼｰﾄ防水用 ﾏｲﾑｰﾅ、中皿撤去、四周研り共	改修用ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ75φ(非鉛製) タテ引きｼｰﾄ防水用 新設				
縦樋・呼樋 ハコニ	2～13階	ｶﾞﾗｽﾌﾟﾗｽチック製φ75 受金物ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ製@1200内外	縦樋：ｶﾞﾗｽﾌﾟﾗｽチック製75φ 支持金物共撤去		縦樋：ｶﾞﾗｽﾌﾟﾗｽチック製φ75φ 支持金物：ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ製@1200新設	13階 樋受石：取外し再取付 下屋根、14階横引き樋受：筋り樹新設	2～13階 ハコニ	縦樋・呼樋	
開口部	玄関出入口	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ7	住戸、集會室、受水槽室、	1階ﾄﾗﾝｸﾞﾙｰﾑ、ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰﾎﾟﾝﾌﾞ 室枠ごと撤去	1階ﾄﾗﾝｸﾞﾙｰﾑ、ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰﾎﾟﾝﾌﾞ 室枠ごと新設	1階ﾄﾗﾝｸﾞﾙｰﾑ、ﾌﾟﾗｽチック廻り天井一部改修(天井伏園による)	玄関出入口	開口部	
	ﾄﾗﾝｸﾞﾙｰﾑ等廻り	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ7	玄関廻りは既存のまま	13階物置き枠ごと撤去	13階物置き枠ごと新設	機械室 外部等			
	外部開口部	ﾌﾟﾗｽチック 見込み70(住戸内 ﾏｲﾌﾟｲﾝﾌﾟﾙｰﾑがﾗｽチック)		1階ﾄﾗﾝｸﾞﾙｰﾑは障子、横棧を撤去(1ヶ所は枠とも)	ｶﾞﾗｽ工法にてﾌﾟﾗｽチック新設(3ヶ所は枠ごと建具表による)		外部開口部		
		ﾄﾞﾌﾞ、ｸﾞﾗｯﾌﾟ等ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10程度		ﾄﾞﾌﾞ、ｸﾞﾗｯﾌﾟ等ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10程度撤去		ﾄﾞﾌﾞ、ｸﾞﾗｯﾌﾟ等ｼｰﾘﾝｸﾞMS-2 15×10程度新設 既存建具ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ(建具案内図による)			
軒裏	屋根幕板	ｶﾞﾗｽﾌﾟﾗｽチックt=0.45加工品 軒裏裏面W350 側面H320 ﾋﾞｽﾞ止め@450全4カ所	取付ﾍﾞｰｽ撤去	下地調整RC種	溶剤による錆おとし処理仕上	軒裏面壁面取合ｼｰﾘﾝｸﾞMS-2 15×10程度撤去新設	屋根幕板	軒裏	
		下地：硬質木毛ｷﾞﾗｽﾌﾟﾗｽチックt=12 軒裏・谷樋取合笠木押え：ｶﾞﾗｽﾌﾟﾗｽチックt=0.45加工品 ﾋﾞｽﾞ止め@450-2カ所				笠木、幕板取付ﾍﾞｰｽ@450新設			
	2階～13階 ハコニ裏	防水型外装薄塗材E 下地：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修 ※ｺﾝｸﾘｰﾄ打放面→アスベスト含有仕上塗材		下地処理：劣化部補修(ｸﾞﾗｯｸ等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上 素地調整 下地調整塗材：可とう形改修塗材RE(エポキシ系)0.8kg/㎡以上 さざ波状(ローラー) 模様塗り	上塗り：高耐候性樹脂塗料(シリコン系) ローラー塗り平滑仕上	避難ﾊｯﾁ 梯子：アルミ合金製 枠：ステンレス製 下地調整RC種 溶剤による錆おとし処理仕上 床面廻り取合ｼｰﾘﾝｸﾞMS-2 15×10程度撤去新設	2階～13階 ハコニ裏		
14階屋根裏 (ハコニ天井)	防水型外装薄塗材E 下地：ｸﾞﾗﾝﾄﾞｸﾞﾗｽﾞﾌﾟﾗｽチックt=6+LGS下地25型 廻り縁：塩ビ製	ｸﾞﾗﾝﾄﾞｸﾞﾗｽﾞﾌﾟﾗｽチック板撤去、廻り縁撤去	LGS下地25型撤去(インサート共)	下地調整：1液形エポキシ樹脂溶剤系シーラー塗	防水型外装薄塗材E塗(ローラー塗)	14階屋根裏 (ハコニ天井)			
2階～12階 居室裏	防水型外装薄塗材E 下地：断熱複合板t=31(ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑt=25+ｸﾞﾗﾝﾄﾞｸﾞﾗｽﾞﾌﾟﾗｽチックt=6)			下地調整：1液形エポキシ樹脂溶剤系シーラー塗	防水型外装薄塗材E塗替え(ローラー塗)	2階～12階 居室裏			



【改修前】1階平面図 S=1/100

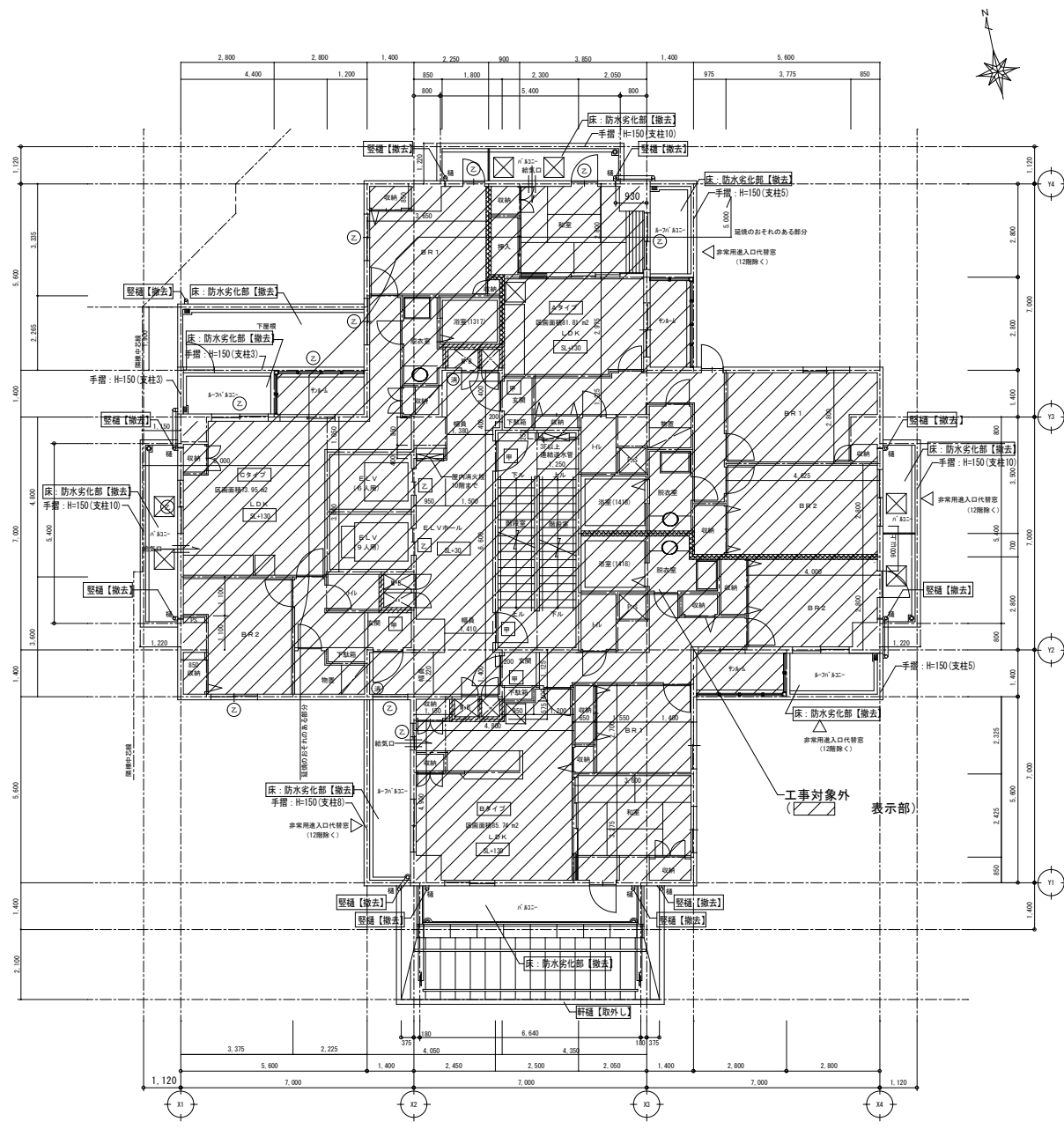


【改修後】1階平面図 S=1/100

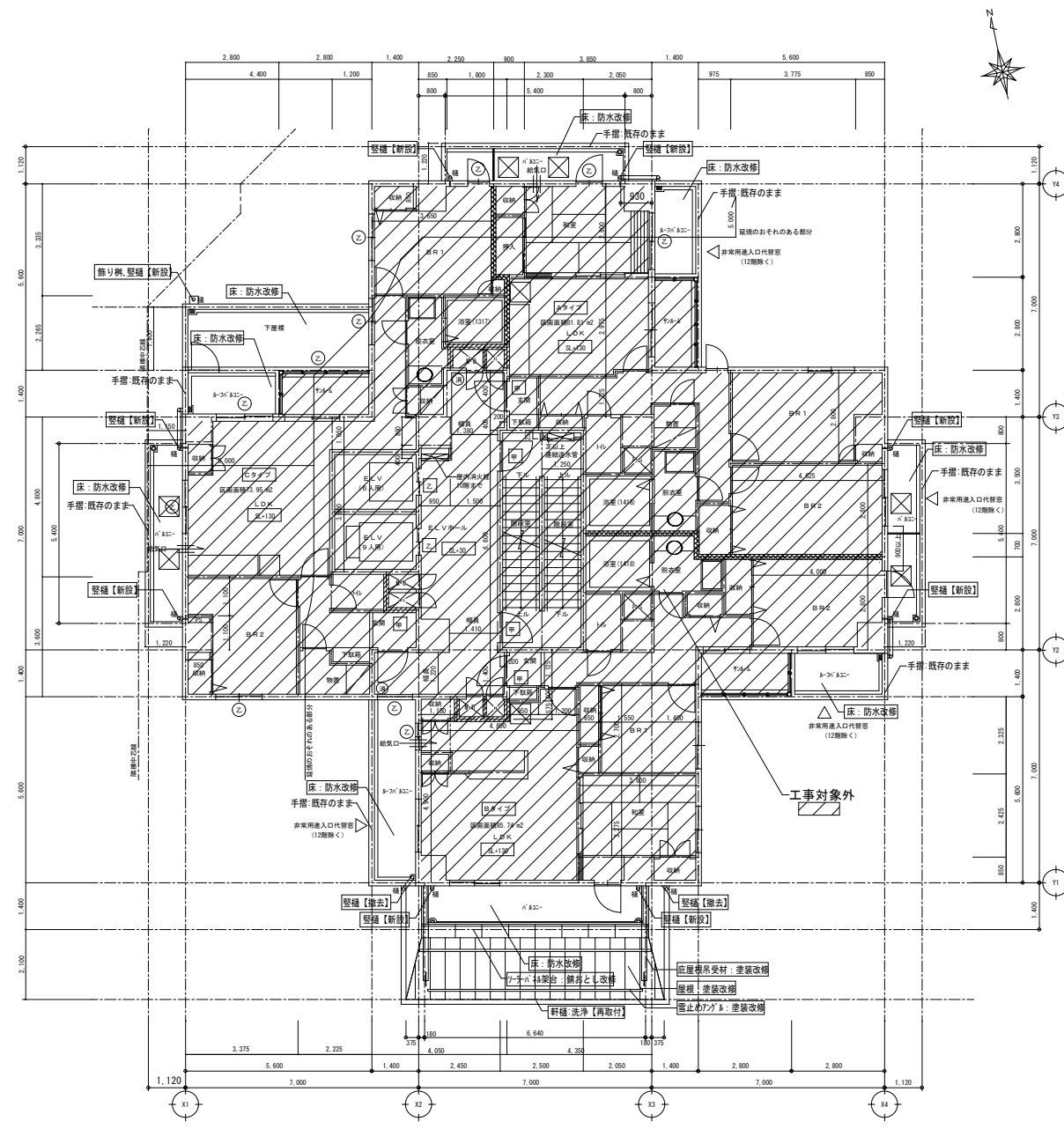
既存凡例

	鉄筋コンクリート壁 t=150 2時間耐火
	コンクリートブロック造壁 t=120 (モルタル充填) 2時間耐火
	外壁面 押出成形板壁 非耐力壁 1時間耐火Wn1029
	界壁 乾式耐火間仕切壁 2時間耐火W-2332 (最上階4層まで1時間耐火W-1214)
	RC壁、コンクリートブロック壁、界壁で防火区画とする。
	LGS65地下PB t=12.5両面貼W=90壁
	常時閉鎖式防火戸 (特定防火設備)
	常時閉鎖式網入りガラス t=6.8入防火戸 (建令109条2項による防火設備)
	網入りガラス t=6.8入防火戸 (建令109条2項による防火設備)
	避難ハッチは錆おとし処理、避難ドアは既存のまま
	給気口150φ (送風ラインは防火ダンパー付き) 内・外部共撤去新設(機軸設置)
	消火器 既存のまま

改修内容を示す



【改修前】2階平面図 S=1/100



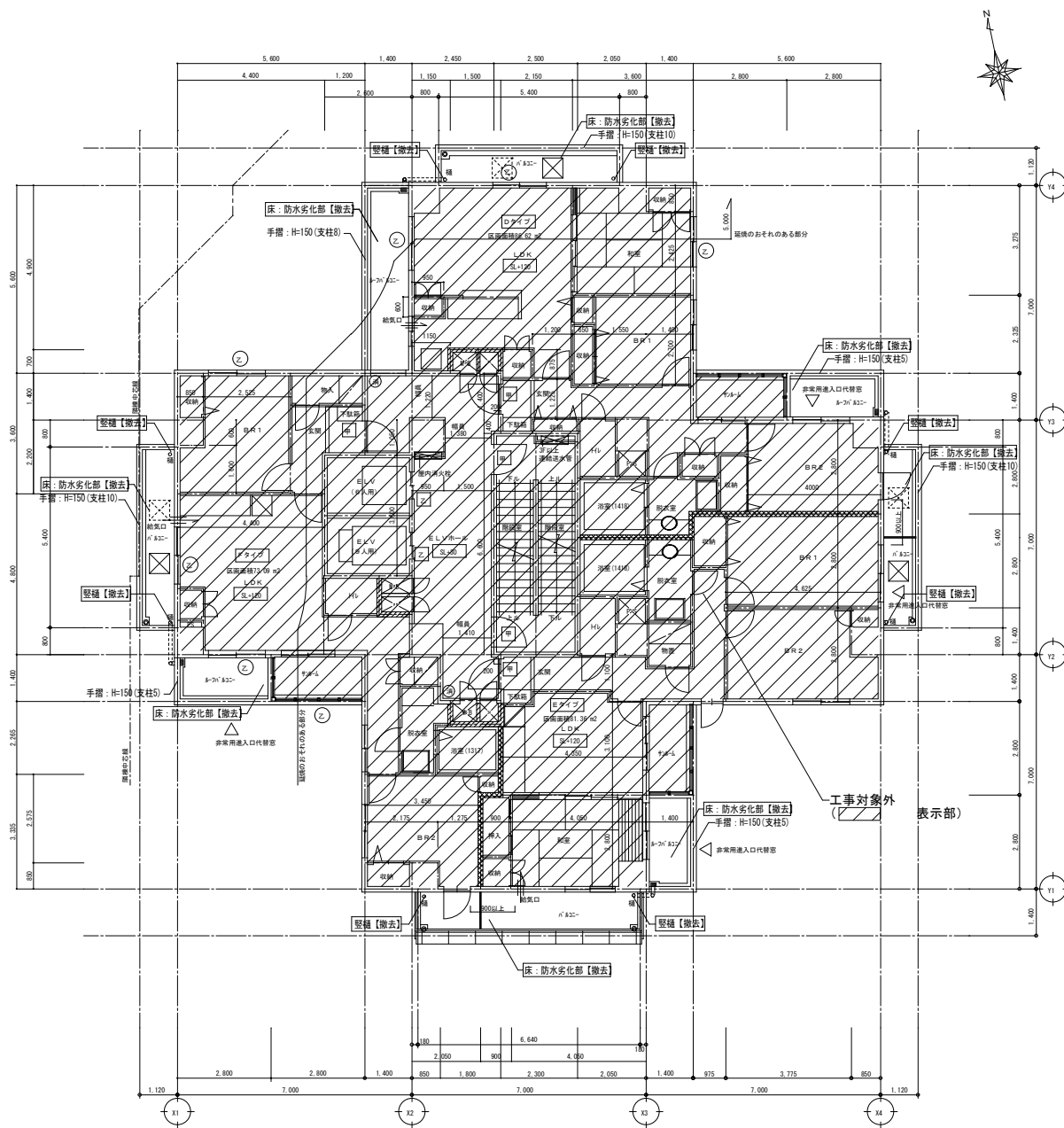
【改修後】2階平面図 S=1/100

既存凡例

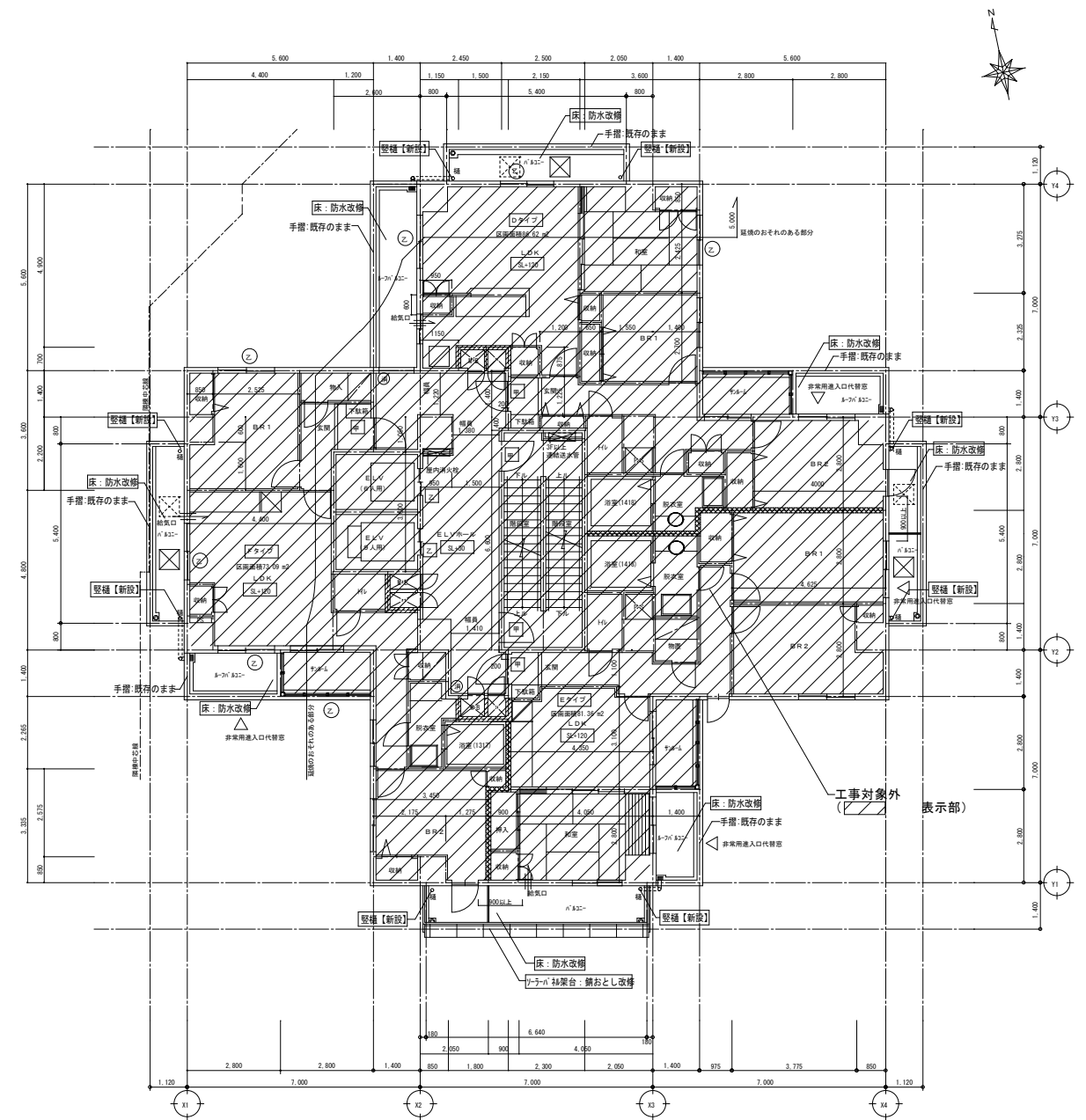
	鉄筋コンクリート壁 t=150 2時間耐火
	コンクリートブロック造壁 t=120 (モルタル充填) 2時間耐火
	外壁面 押出成形板壁 非耐力壁 1時間耐火Wn1029
	界壁 乾式耐火間仕切壁 2時間耐火W-2332 (最上層4層まで1時間耐火W-1214)
	RC壁、コンクリートブロック壁、界壁で防火区画とする。
	LG S65下地PB t=12.5両面結W=90壁
	常時閉鎖式防火戸 (特定防火設備)
	常時閉鎖式網入りガラス t=6.0 防火戸 (建令109条2項による防火設備)
	網入りガラス t=6.8 防火戸 (建令109条2項による防火設備)
	避難ハッチは錆おとし処理、避難3ヶ所は既存のまま
	給気口150φ (延焼ラインは防火ダンパー付き) 内・外部共換気新設(機械設備)
	消火器 既存のまま

改修内容を示す





【改修前】3・5・7・9・11階平面図 S=1/100



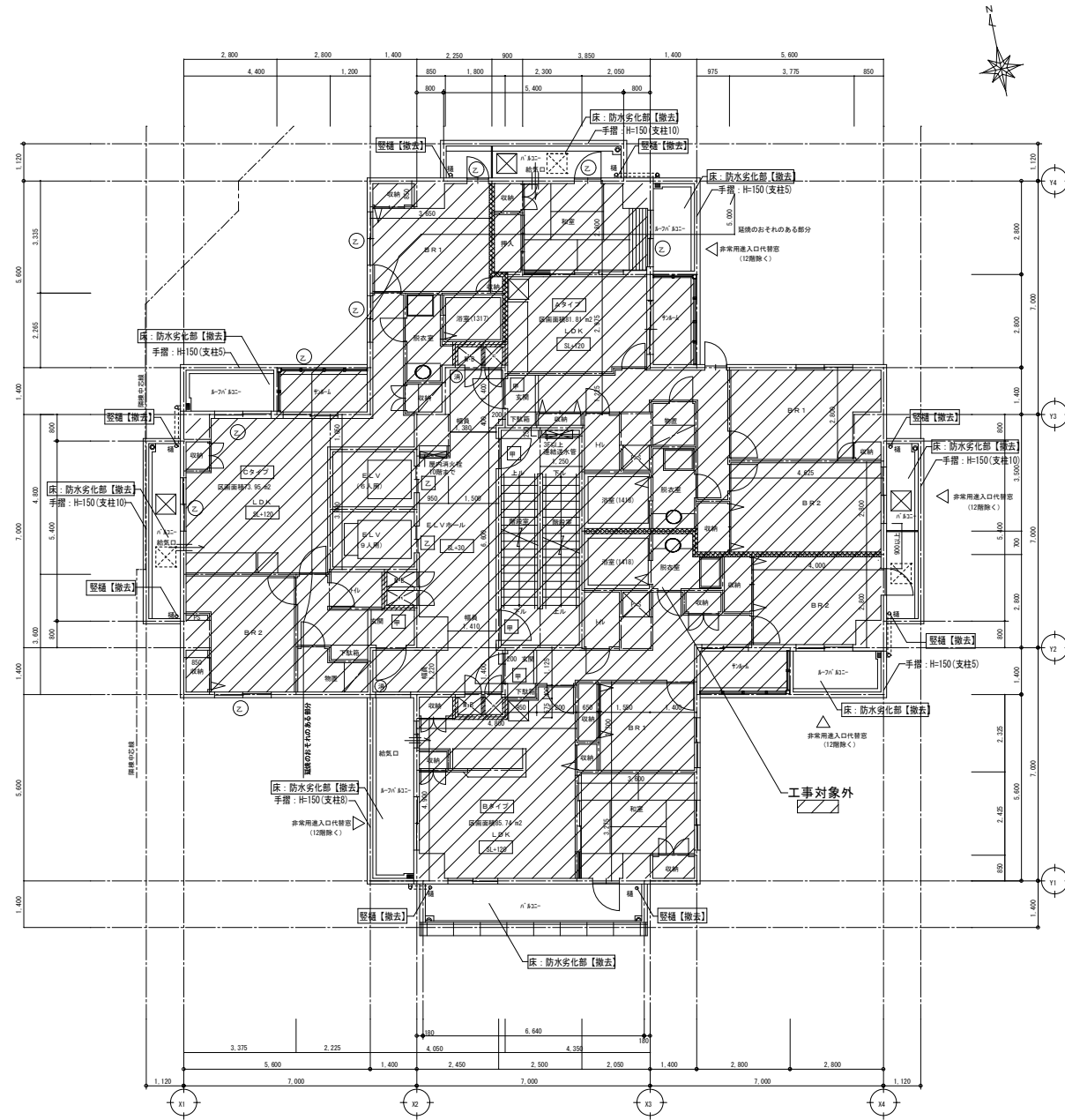
【改修後】3・5・7・9・11階平面図 S=1/100

既存凡例

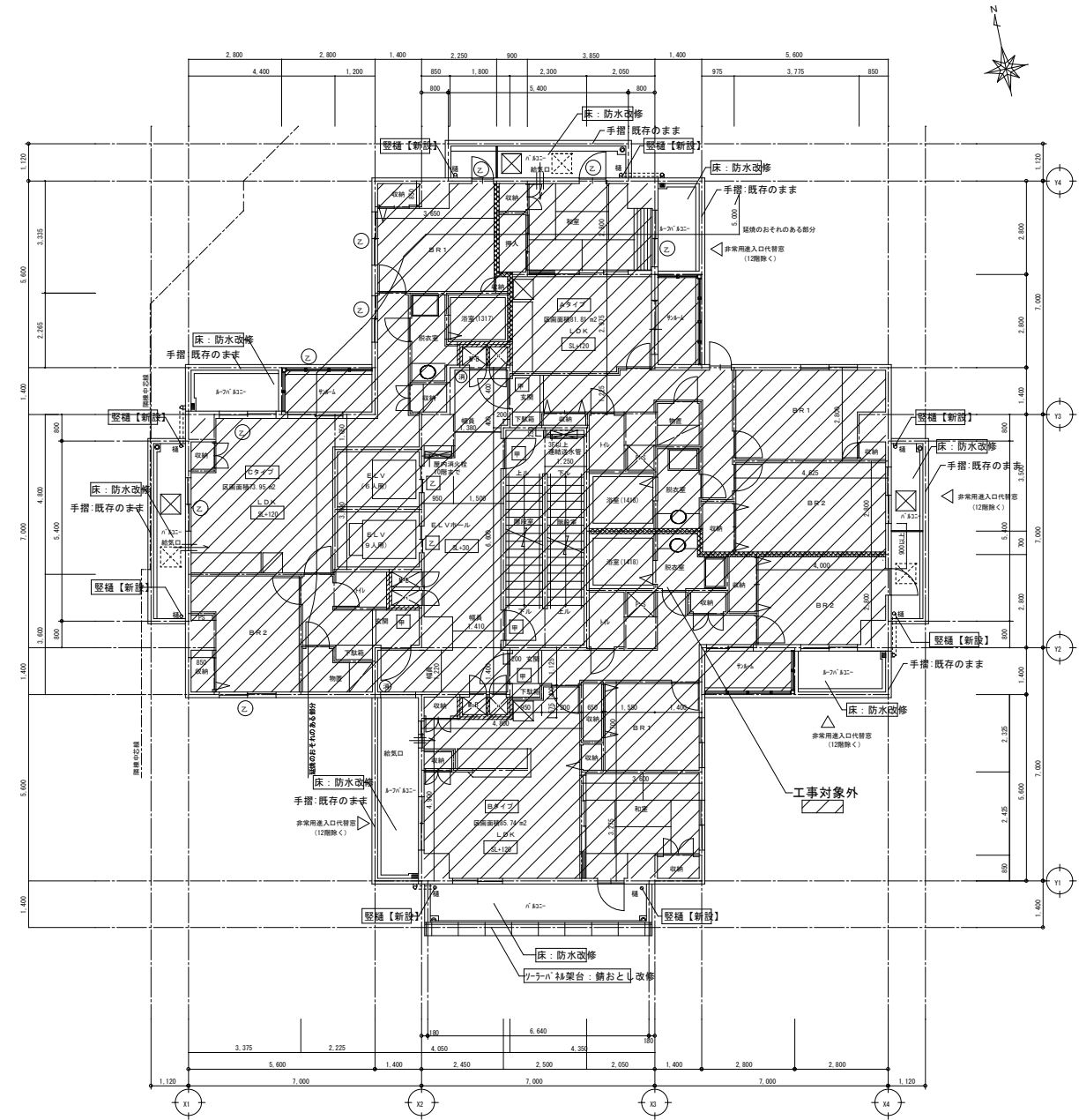
	鉄筋コンクリート壁 t=150 2時間耐火
	コンクリートブロック造壁 t=120 (モルタル充填) 2時間耐火
	外壁面 押出成形板壁 非耐力壁 1時間耐火Wn1029
	界壁 乾式耐火間仕切壁 2時間耐火W-2332 (最上階4層まで1時間耐火W-1214)
	RC壁、コンクリートブロック壁、界壁で防火区画とする。
	LGS65下地P B t=12.5両面貼W=90壁
	常時閉鎖式防火戸 (特定防火設備)
	常時閉鎖式網入りガラス t=6.8入防火戸 (建令109条2項による防火設備)
	網入りガラス t=6.8入防火戸 (建令109条2項による防火設備)
	避難ハッチは錆おとし処理、避難ツツは既存のまま
	給気口150φ (基礎ラインは防火ダンパー付き) 内・外部共撤去新設(機械設備)
	消火器 既存のまま

改修内容を示す

備考	一級建築士事務所新潟県知事登録(ト)第1774号 <b>上越市建築設計協同組合</b> 管理建築士・一級建築士登録第125068号 宮下幸彦	組合審査 第106046号 第一設計総合事務所 齊藤博	総括・一級建築士 担当事務局長 基本・電気・水道・設備 第一設計総合事務所 齊藤博	工事名称 <b>市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事</b>	図面名 <b>【改修前・後】基準階3・5・7・9・11階平面図</b>	縮尺 A1版 1/100 A3版 1/200 年月日 R03.12	整理分類番号	図面番号 ①・電・衛・空 浄・厨・外 A-14 A-52 合計枚数 枚
----	--	--------------------------------------	---	-----------------------------------	--	--	--------	--



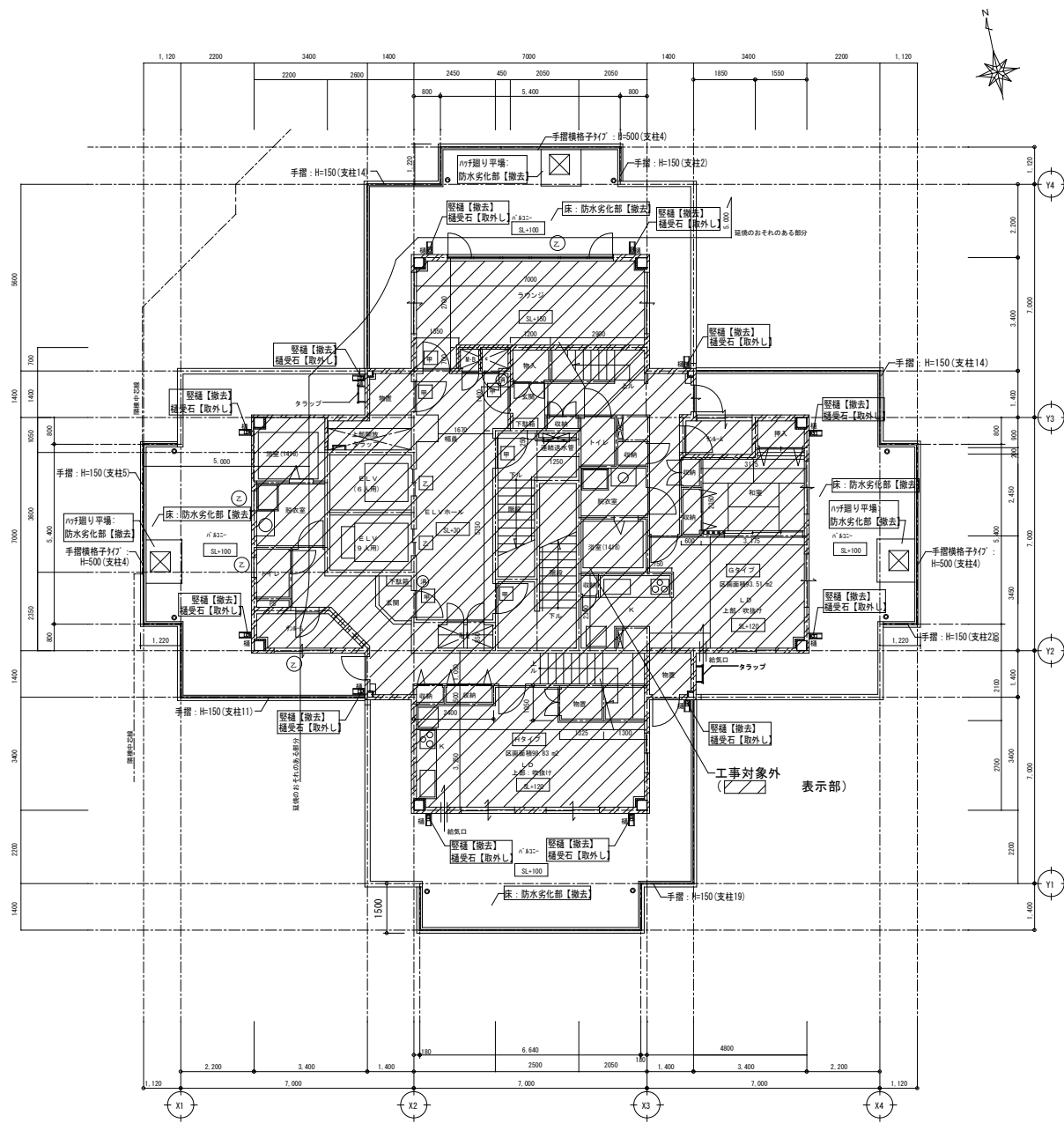
【改修前】4・6・8・10・12階平面図 S=1/100



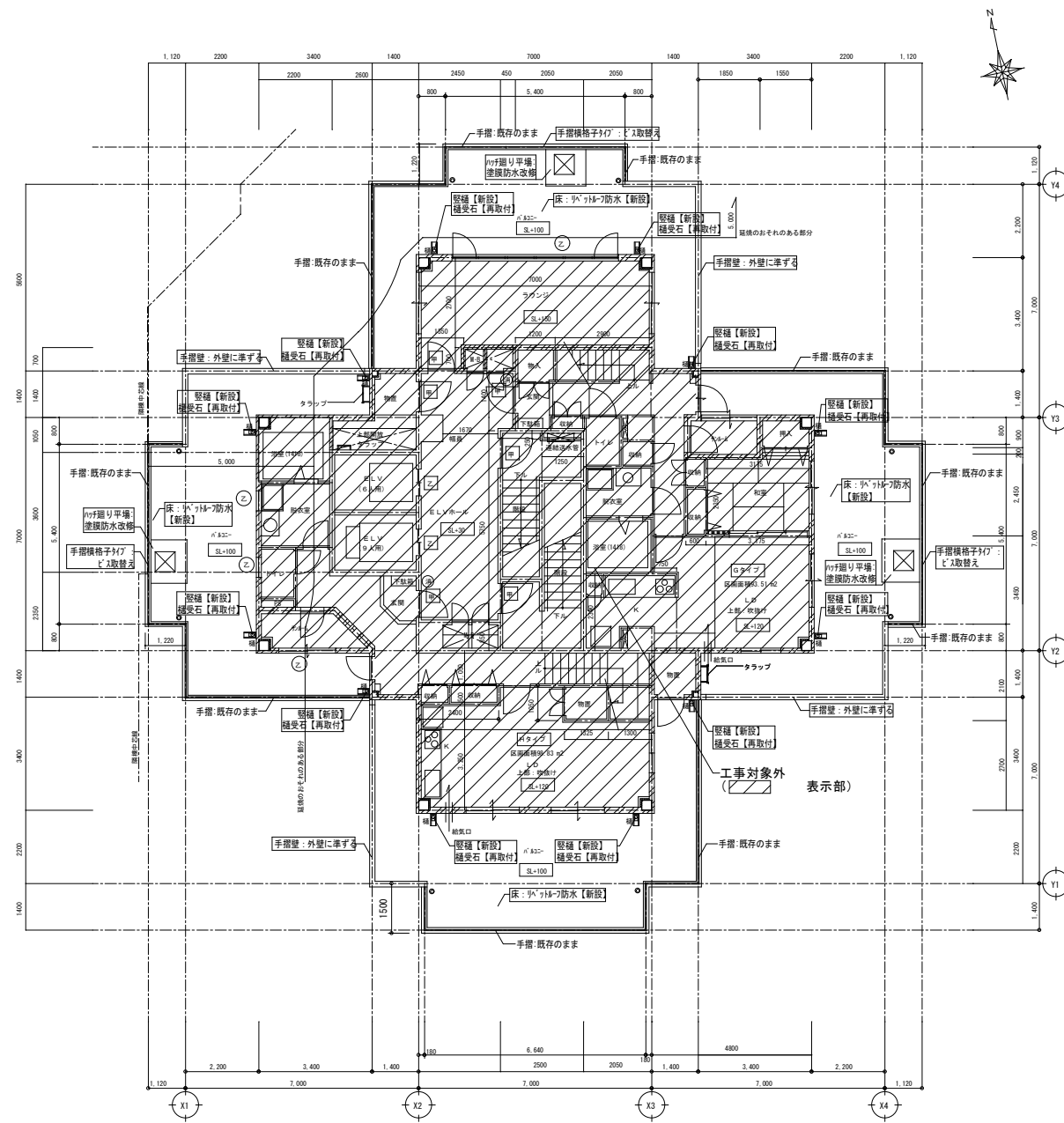
【改修後】4・6・8・10・12階平面図 S=1/100

既存凡例	
	鉄筋コンクリート壁 t=150 2時間耐火
	コンクリートブロック造壁 t=120 (モルタル充填) 2時間耐火
	外壁面 押出成形板壁 非耐力壁 1時間耐火Wn1029
	界壁 乾式耐火間仕切壁 2時間耐火W-2332 (最上階4層まで1時間耐火W-1214) RC壁、コンクリートブロック壁、界壁で防火区画とする。
	LG565地下PB t=12.5両面貼W=90壁
	常時閉鎖式防火戸 (特定防火設備)
	常時閉鎖式網入りガラス t=6.8防火戸 (建令109条2項による防火設備)
	網入りガラス t=6.8防火戸 (建令109条2項による防火設備)
	避難ハッチは錆おとし処理、避難ドアは既存のまま
	給気口150φ (延焼ラインは防火ダンパー付き) 内・外部共撤去新設 (機械設備)
	消火器 既存のまま

改修内容を示す



【改修前】13階平面図 S=1/100

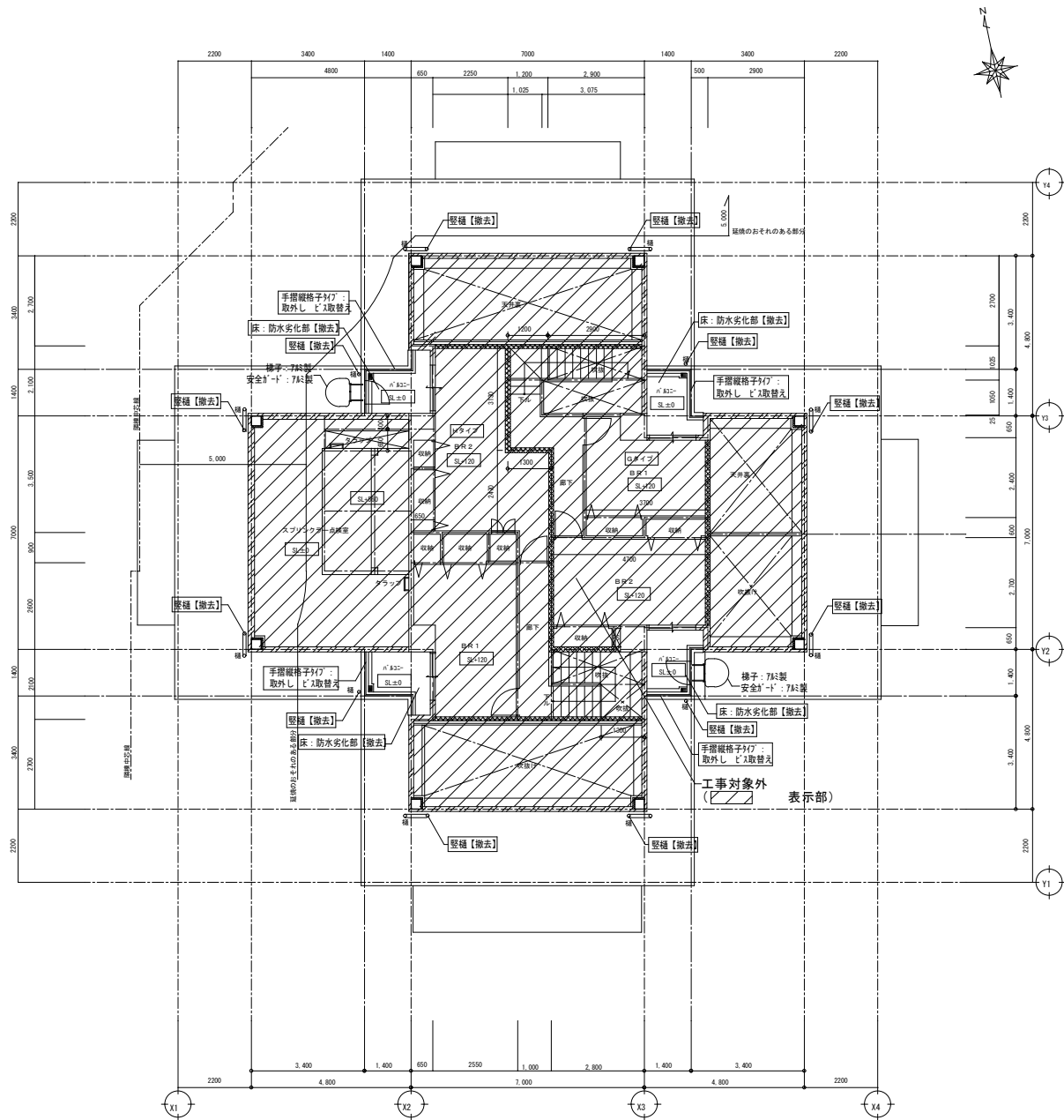


【改修後】13階平面図 S=1/100

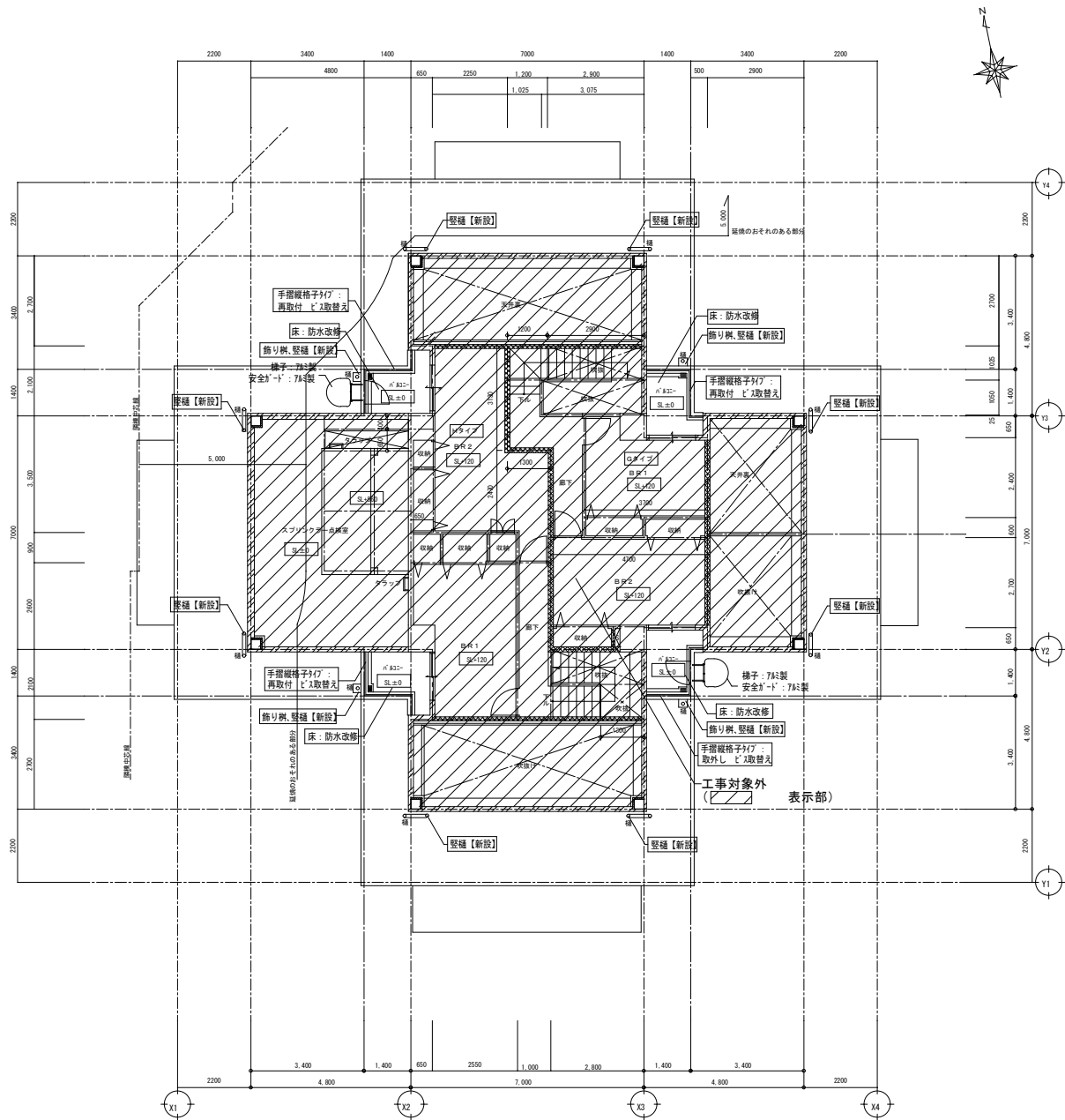
既存凡例

	鉄筋コンクリート壁 t=150 2時間耐火
	コンクリートブロック造壁 t=120 (モルタル充填) 2時間耐火
	外壁面 押出成形板壁 非耐力壁 1時間耐火Wn1029
	界壁 乾式耐火間仕切壁 2時間耐火W-2332 (最上階4層まで1時間耐火W-1214) RC壁、コンクリートブロック壁、界壁で防火区画とする。
	LG S65下地PB t=12.5両面鉛W=90壁
	常時閉鎖式防火戸 (特定防火設備)
	常時閉鎖式網入りガラス t=6.8防火戸 (建令109条2項による防火設備)
	網入りガラス t=6.8防火戸 (建令109条2項による防火設備)
	避難ハッチは錆おとし処理、避難ハッチは既存のまま
	給気口150φ (延焼ラインは防火ダンパー付き) 内・外部共撤去新設 (撤去設備)
	消火器 既存のまま

改修内容を示す



【改修前】14階平面図 S=1/100



【改修後】14階平面図 S=1/100

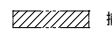

既存凡例

	鉄筋コンクリート壁 t=150 2時間耐火
	コンクリートブロック造壁 t=120 (モルタル充填) 2時間耐火
	外壁面 押出成形板壁 非耐力壁 1時間耐火Wn1029
	界壁 乾式耐火間仕切壁 2時間耐火W-2332 (最上層4層まで1時間耐火W-1214)
	RC壁、コンクリートブロック壁、界壁で防火区画とする。
	LGS65下地PB t=12.5両面貼W=90壁
	常時閉鎖式防火戸 (特定防火設備)
	常時閉鎖式網入りガラス t=6.8入防火戸 (建令109条2項による防火設備)
	網入りガラス t=6.8入防火戸 (建令109条2項による防火設備)
	避難ハッチは網おとし処理、避難ハッチは既存のまま
	結気口150φ (結気ラインは防火ダンパー付き) 内・外野共撤去新設(機械設備)
	消火器 既存のまま

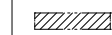

改修内容を示す



現 況 凡 例	
1	屋根 カーテンレスト=0.45 平滑バ工法 (元目&フック) (株) 棟包み、頂部おさめ、谷カバーカーテンレスト=0.45
2	雪止めアングル ステンレス製 50×50 t=4.0【アングル取外し】
3	軒樋・谷樋 樋カーテンレスト=0.4コ型加工品 W250×H130 おとし口8カ所 屋根裏板(笠木押え)共重根幕板:カーテンレスト=0.45加工品 W350×H300 ビス止め@450計6カ所
4	軒先(けらば)カバー カーテンレスト=0.45加工品
5	地覆 コンクリート打放し補修
6	外壁(1~12階) コンクリート打放し 防水型外装薄塗材E 多機能型単層弾性仕上塗材(色分け塗り) 下地: 打ち放し補修の上、素地調整
7	外壁(13、14階) 押出成形板面 防水型外装薄塗材E 多機能型単層弾性仕上塗材(色分け塗り) 下地処理、素地調整 目地シリング 約10×10程度、3015×10程度【撤去】
8	バルコニー (立上り壁内外) 防水型外装薄塗材E 多機能型単層弾性仕上塗材(色分け塗り) 下地: 打ち放し補修の上、素地調整
9	バルコニー笠木 (14階) 7M笠木カバー(W285前後 既製品巾)【取外し】
10	開口部 (玄関出入口) ステンレスドア ドア、サッシ廻り等シリング 15×10程度【撤去】
11	開口部 (トイレ等外部廻り) 1階トイレ1階トイレ等シリング、13階物置は撤去(詳細は建具表による) ドア、サッシ廻り等シリング 15×10程度【撤去】
12	開口部 (外部開口部) 7Mサッシ 見込み70(住戸内 エアイト複層ガラスサッシ) 1階トイレ等シリングは撤去(詳細は建具表による) ドア、サッシ廻り等シリング 15×10程度【撤去】
13	カーチス 屋根 カーテンレスト=0.45溶接工法(SUS304) ナコート=0.4+カーチスフォームt=4.0 軒先唐草: ステンレス製 ナコート=0.4加工品 下地: アスファルトフック 940+耐火木毛セメント板t=25
14	カーチス 底屋根吊受材 165.2φ×4.5 2液型Eポキシ樹脂塗装
15	カーチス 軒裏 ケ酸加工板t=6.0模様(エポキシ模様) EP塗【撤去】 下地: LGS25型撤去(インサート共)
16	カーチス 軒樋 スチール芯入高耐候性樹脂被覆品 取外し
17	カーチス 雪止めアングル ステンレス製 50×50 t=4.0【取外し】
18	壁樋・呼樋 カーチス製φ75金物共 ステンレス製受金物共【撤去】
19	手すり (2~12階バルコニー等) 7M製 H=150 手摺60x40角 支柱(50x50)@1200内外フック止め
20	手摺 縦格子タイプ (13階 避難ハコ前) 7M製 H=500 縦格子25x25@100 支柱(50x50)@1200内外フック止め
21	手摺 縦格子タイプ (14階バルコニー) 7M製H=980 縦格子25x25@100 支柱(50x50)@1200内外フック止め【取外し】
22	手摺 手すり (2~12階 避難ハコ前) H 補受支柱: SUS-80×40×5及び40×40×5合せ止め@810受けSUS-PL-6溶接 支柱固定受材: SUS-2L-40×40×5 オールワンカ-2×2-M10 手摺: SUS□-100×50×2 カバー: 笠木7M加工品 2階7M補装仕上げ(想定)、3~12階7M補(電気設備)ボルト止め 両端7M補: 補装仕上げ板、H 補装目隠し板: 7M製t=2.0 支柱ビス止めM4@229
23	H 補受支柱 (各階バルコニー) 7M製t=1050x2000 ケハ板塗装品t=5 避難通路シールド 取付金物: L型7Mフック フック止め6ヶ所 支柱補強45角7M製止め
24	避難7Mクラップ (14階バルコニー) 梯子: 7M合金製 貫通又はフックM10壁面固定止め(SUS製) 安全ガード柵: 7M合金製 6Mx8(SUS製) 止め
25	換気金物 外部 ステンレス製100φ丸型タイプ ※工事時調査により雨水吹込部【撤去】 内部 樹脂製100φ丸型タイプ【撤去】
26	表示板(住所表示) スチール製60×60、120×60【取外し】
27	表示板(津波避難) 塩ビ製520×730 ビス留め【取外し】

 撤去範囲を示す。  
 化粧・打継目地: シーリング撤去を示す。  
 シーリング(ヨコ) 25×15程度  
 耐震スリットシーリング(タテ) 25×20程度  
  
 排気フード(ベントキャップ)機械設備  
 換気金物100φ(居室) 撤去、既存のこしかは工事時調査による。  
 ※ACは空調のスイッチを示す(機械設備)

改 修 凡 例	
1	屋根 DP塗装仕上(弱溶剤系2液型層根用フッ樹脂塗料2回塗) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度) 下地調整: 錆汚れ、付着物除去の上研磨処理 下塗り: 弱溶剤系変成Eポキシ樹脂プライマー 棟包み、頂部おさめ、谷カバーカーテンレスト共
2	雪止めアングル DP塗り(1級)フッ樹脂の上再取付け 下地調整RB種 錆止め塗装B種(Eポキシ系)
3	軒樋・谷樋 屋根裏板(笠木押え)共 溶剤による錆おとし処理仕上げ 下地調整RC種 取付ビス撤去新設
4	軒先(けらば)カバー DP塗装仕上(弱溶剤系2液型層根用フッ樹脂塗料2回塗) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度) 下地調整: 錆汚れ、付着物除去の上研磨処理 下塗り: 弱溶剤系変成Eポキシ樹脂プライマー
5	地覆 コンクリート打放し 上塗り: 高耐候性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑仕上げ(色分け塗り) 下地処理: 劣化部補修(クランク等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上 素地調整 下地調整塗材: 可とう形改修塗材RE ※色分け塗りは1階の各壁面ごとと同色を新設する。
6	外壁(1~12階) コンクリート打放し 上塗り: 高耐候性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑仕上げ(色分け塗り) 7M補装仕上げ(想定)除去処理(レベリング) ※建具撤去まわりのみ 下地処理: 劣化部補修(クランク等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上 素地調整 下地調整塗材: 可とう形改修塗材RE ※色分け塗りは既存合わせとする。
7	外壁(13、14階) 押出成形板面 上塗り: 高耐候性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑仕上げ(色分け塗り) 下地処理: 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度) 素地調整 下地調整塗材: 可とう形改修塗材RE 目地シリング 約10×10程度、3015×10程度MS-2(耐候性タイプ)【新設】 ※1階凸凹部は下地調整、上塗りは刷毛塗り等対応する。色分け塗りは既存合わせとする。
8	バルコニー (立上り壁内外) 上塗り: 高耐候性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑仕上げ(色分け塗り) 下地処理: 劣化部補修(クランク等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上 素地調整 下地調整塗材: 可とう形改修塗材RE ※色分け塗りは既存合わせとする。
9	バルコニー笠木 (14階) 再取付
10	開口部 (玄関出入口) 既存のまま ドア、サッシ廻り等シリング: MS-2 15×10程度新設
11	開口部 (トイレ等外部廻り) 1階トイレ1階トイレ等シリング、13階物置は新設(詳細は建具表による) ドア、サッシ廻り等シリング: MS-2 15×10程度新設
12	開口部 (外部開口部) 1階トイレ等シリングは新設(詳細は建具表による) 住戸、集金室、受水槽、玄関廻りは既存のまま ドア、サッシ廻り等シリング: MS-2 15×10程度新設
13	カーチス 屋根 DP塗装仕上(弱溶剤系2液型層根用フッ樹脂塗料2回塗) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度) 下地調整: 錆汚れ、付着物除去の上研磨処理 下塗り: 弱溶剤系変成Eポキシ樹脂プライマー (軒先唐草共)
14	カーチス 底屋根吊受材 フッ樹脂系塗料塗仕上 素地調整RA種 錆止め処理: 常温亜鉛メッキ処理塗装 中塗り弱溶剤系変成Eポキシ塗料塗り
15	カーチス 軒裏 アルミスバンドレル貼新設 下地: LGS25型新設(インサート共)
16	カーチス 軒樋 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度) 【再取付】
17	カーチス 雪止めアングル DP塗り(1級)フッ樹脂の上再取付け 下地調整RB種 錆止め塗装B種(Eポキシ系)
18	壁樋・呼樋 カーチス製φ75金物 支持金物: ステンレス製@1200【新設】
19	手すり (2~12階バルコニー等) 既存のまま
20	手摺 縦格子タイプ (13階 避難ハコ前) ステンレス製ビスへの取換え、
21	手摺 縦格子タイプ (14階バルコニー) 手摺【再取付】 ステンレス製ビスへの取換え、
22	手摺 手すり (2~12階 避難ハコ前) H 補受支柱、固定受材: 溶剤による錆おとし処理仕上げ 下地調整RC種 H 補装目隠し板: 取外し再取付 溶剤による錆おとし処理仕上げ 取付ビスは撤去新設 2階7M補: DP塗装(1級)フッ樹脂 下地調整、下塗り(両方共)
23	H 補受支柱 (各階バルコニー) 7M製枠、ケハ板及び支柱は既存のまま
24	避難7Mクラップ (14階バルコニー) 梯子: 既存のまま 安全ガード柵: 既存のまま
25	換気金物 外部 ステンレス製100φ丸型タイプ ※工事時調査により雨水吹込部防雨フード付【新設】 既存のこり部: 溶剤による錆おとし処理仕上げ(下地処理RC種程度) 内部 樹脂製100φ丸型タイプ【新設】
26	表示板(住所表示) スチール製60×60、120×60【再取付】
27	表示板(津波避難) 塩ビ製520×730 ビス留め【再取付】
28	飾り樹 ステンレス製【新設】

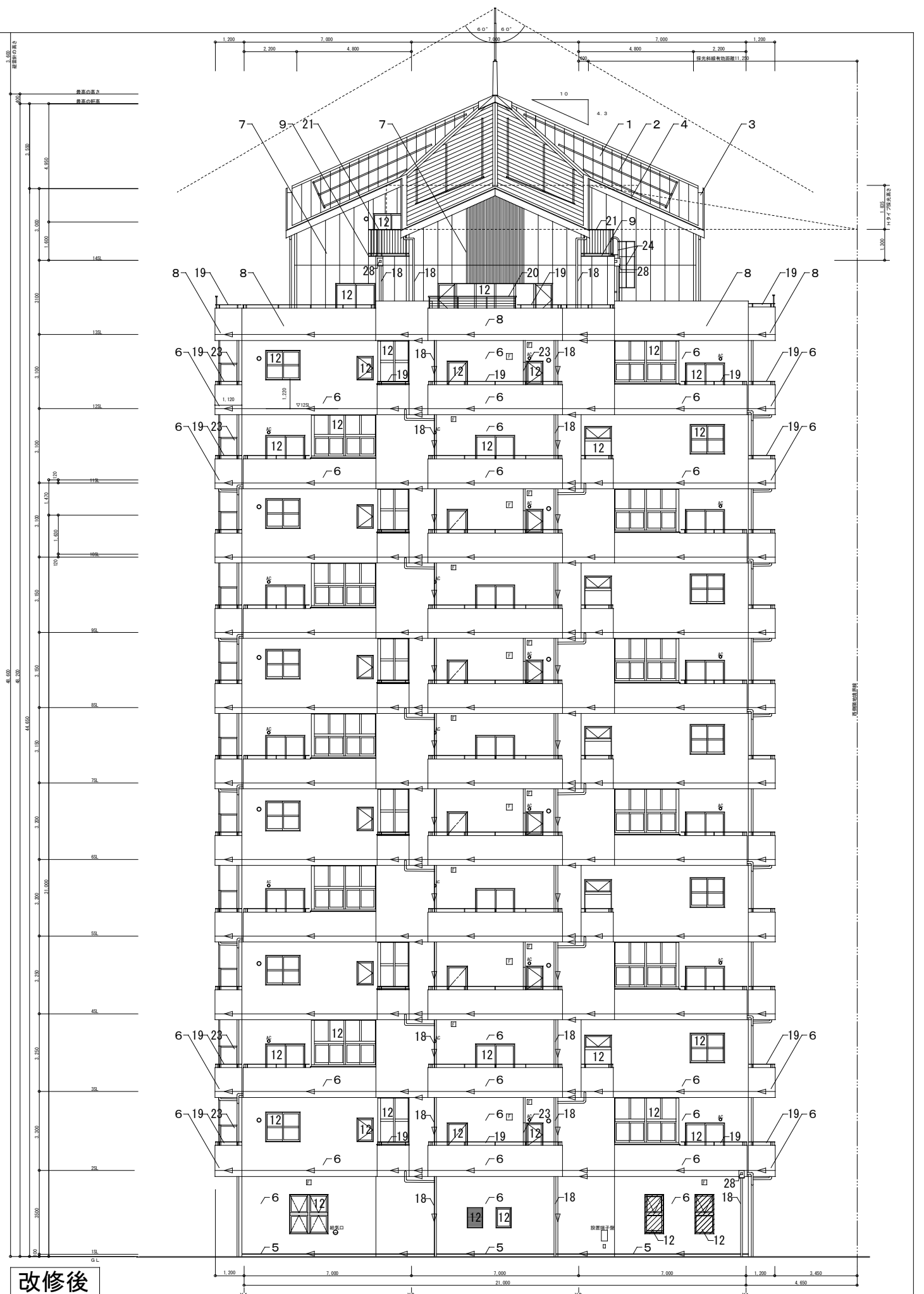
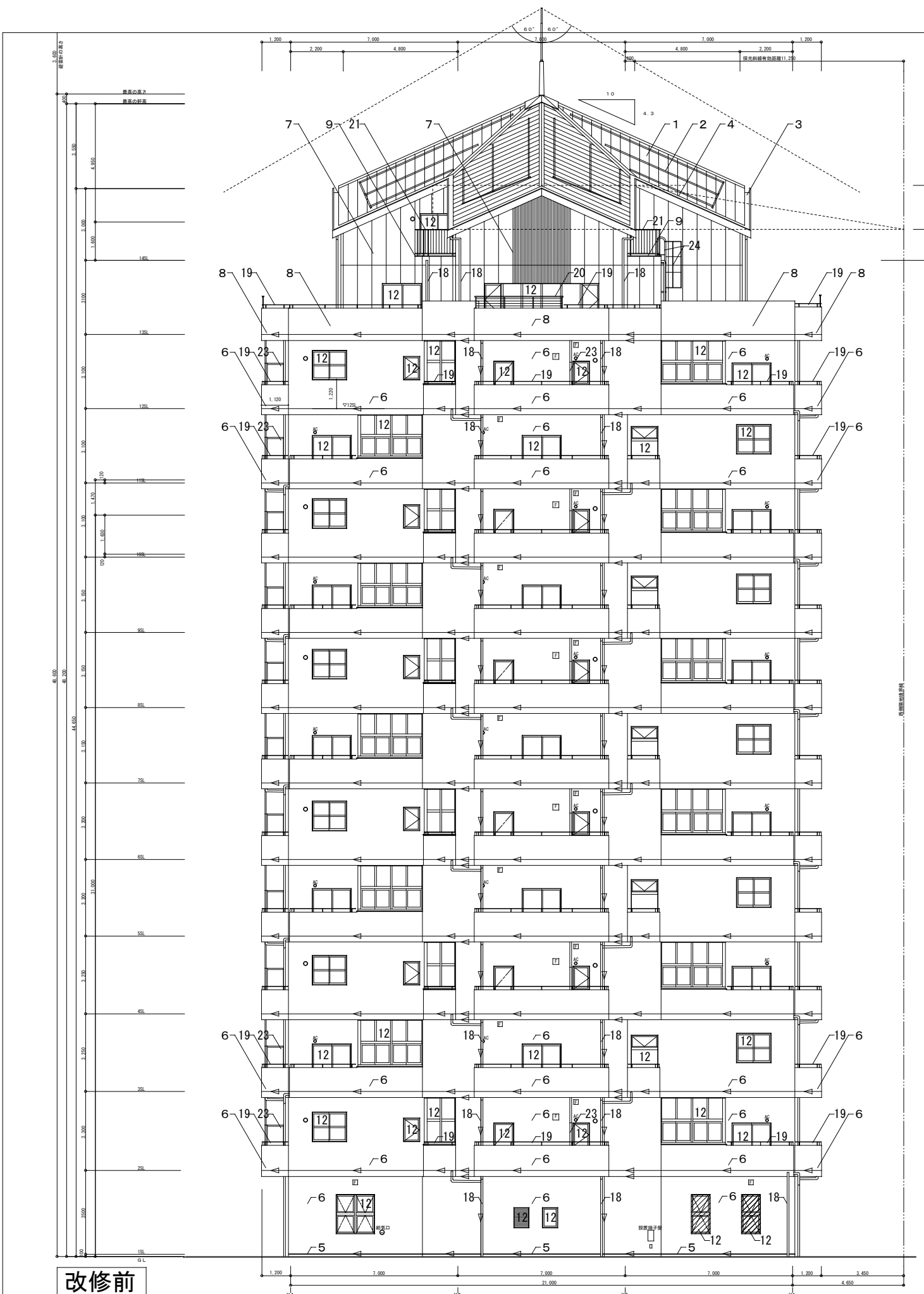
 新設範囲を示す。  
 化粧・打継目地: シーリング新設を示す。  
 シーリング(ヨコ)PU-2 25×15程度  
 耐震スリットシーリング(タテ)PU-2 25×20程度  
 排気フード(ベントキャップ)機械設備  
 換気金物100φ(居室)新設か錆落とし処理かは工事時の調査による  
 ※ACは空調のスイッチを示す(機械設備)

改修前

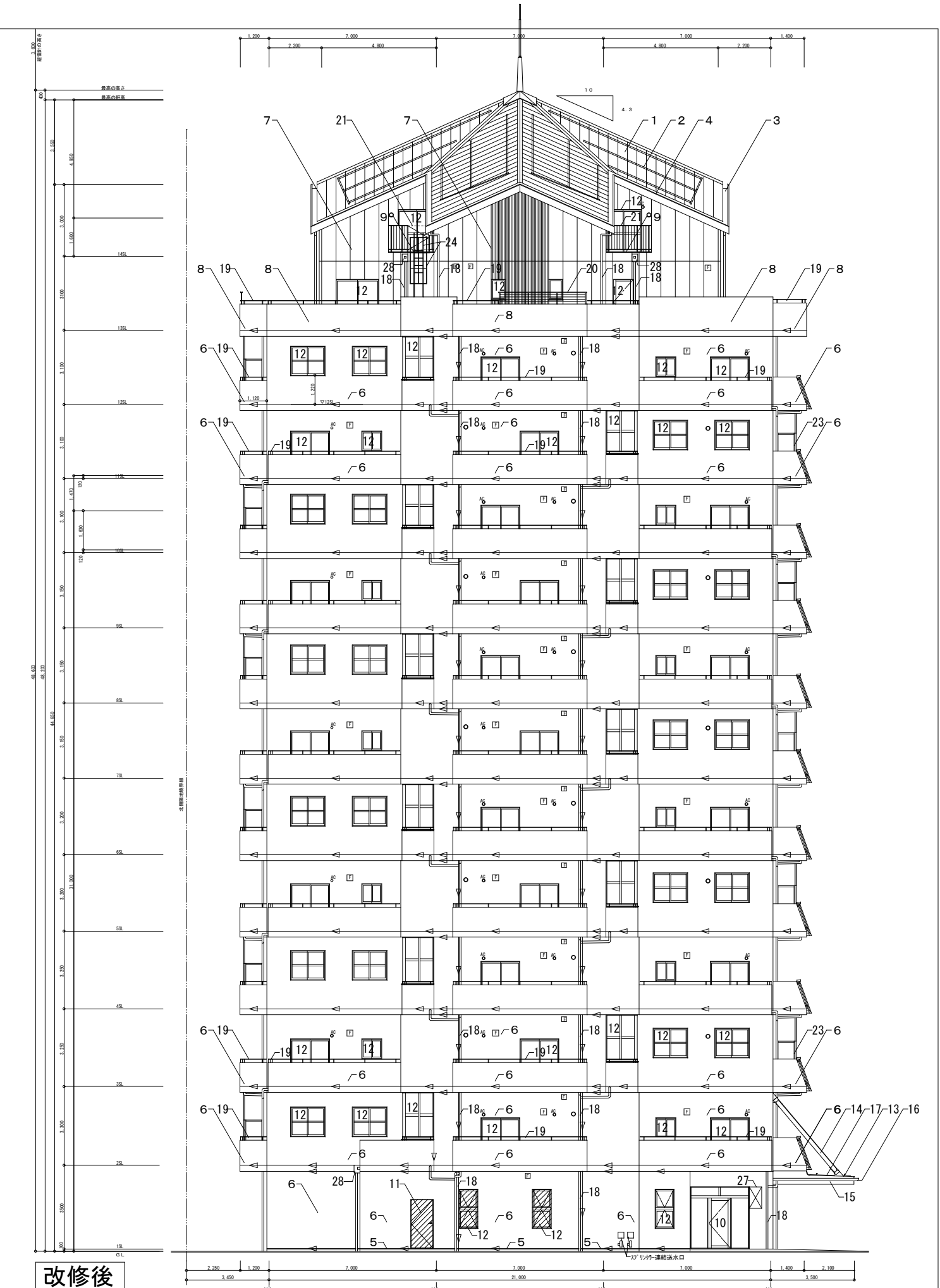
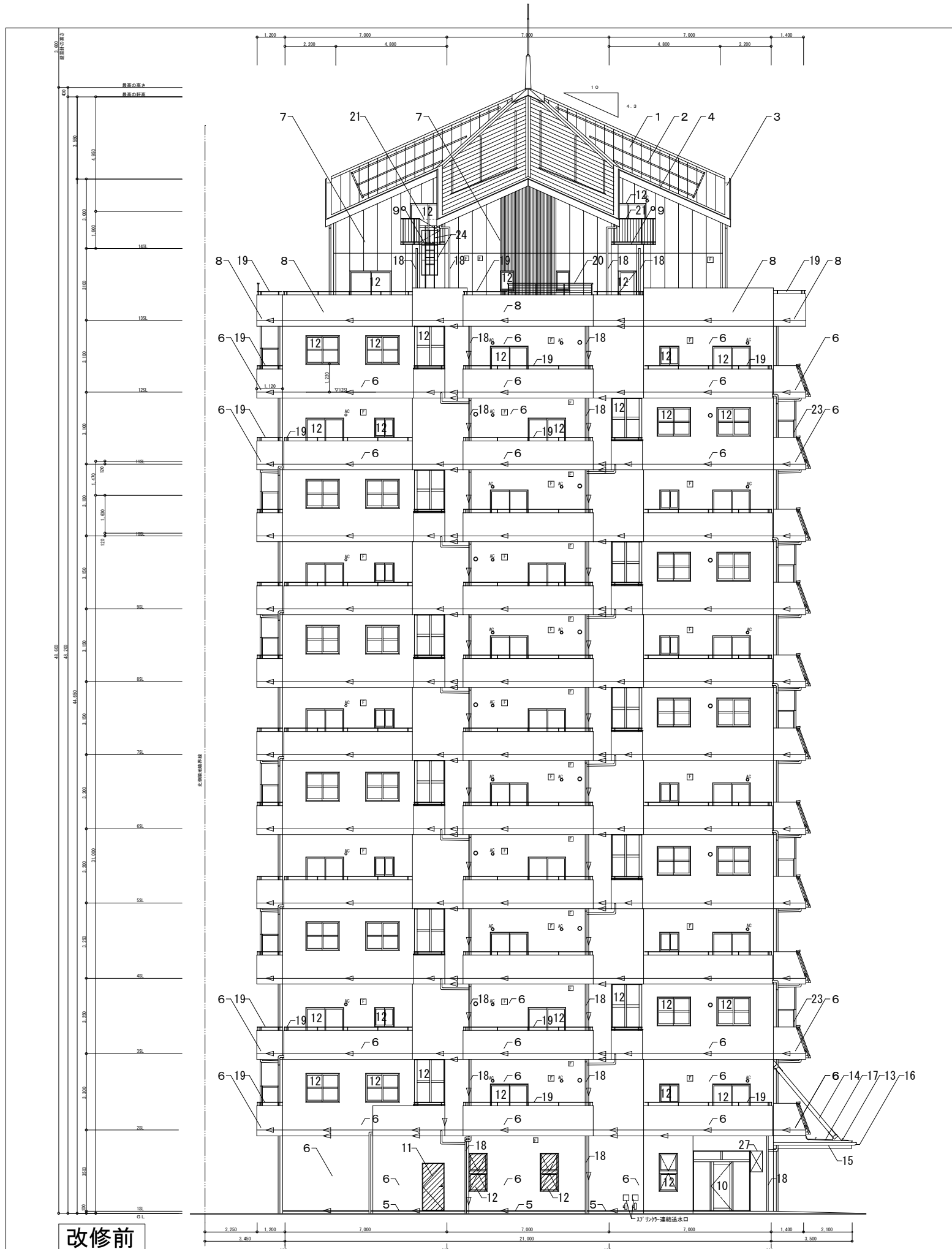
改修後

備考	一級建築士事務所新潟県知事登録(ト)第1774号 <b>上越市建築設計協同組合</b> 管理建築士・一級建築士登録第125068号 宮下幸彦	組合審査	総括・一級建築士 第106046号 新潟一級設計組合事務所 斉藤博	担当事務局長 基本(印) 建築・設備 新潟一級設計組合事務所 斉藤博	工事名称	市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事	図面名	【改修前・後】 立面図凡例	縮尺	A1版 - A3版 -	整理分類番号	図面番号
									年月日	R03.12		①・電・衛・空 浄・廊・外 A-19 A-52 合計枚数 枚

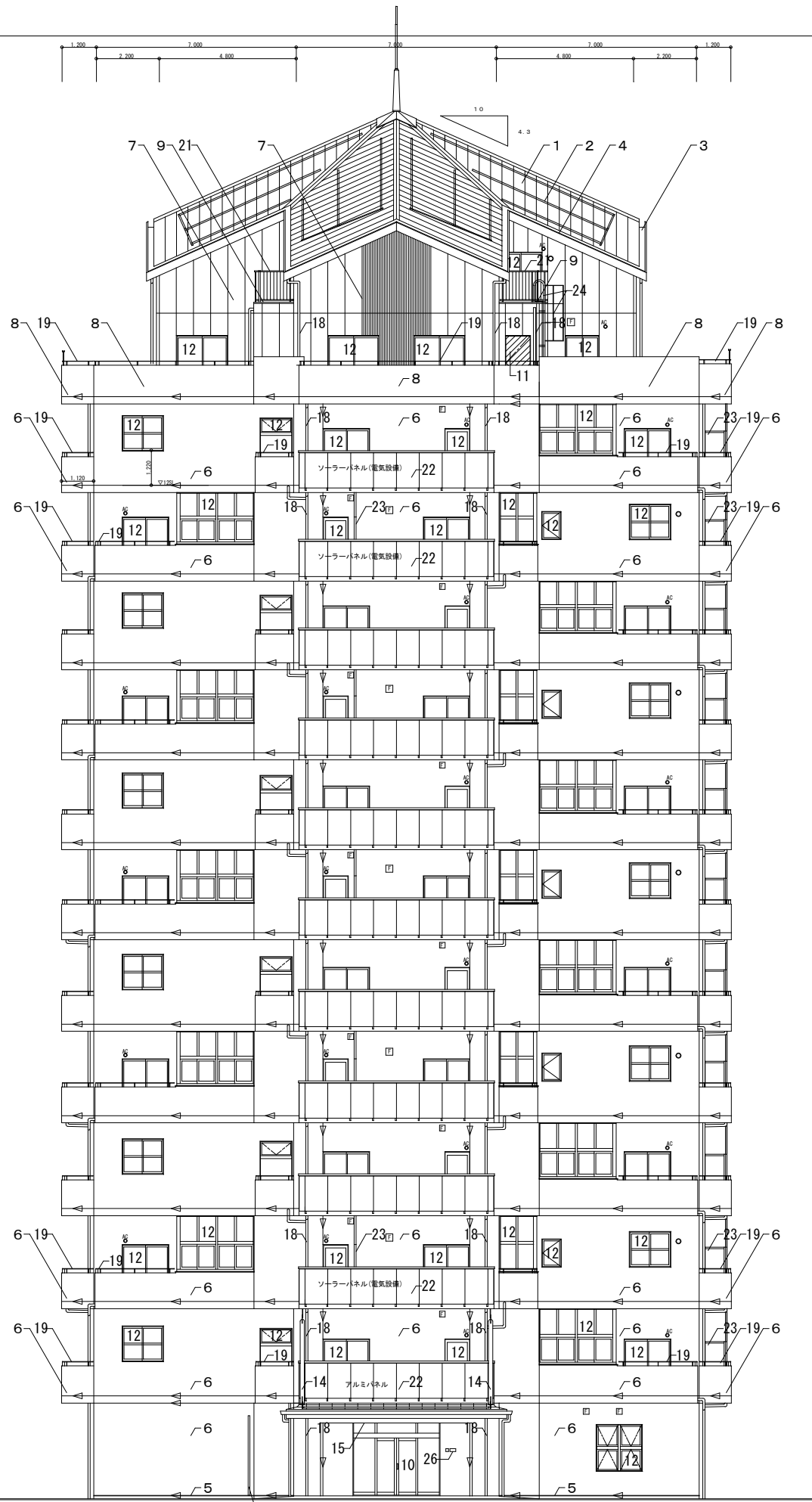




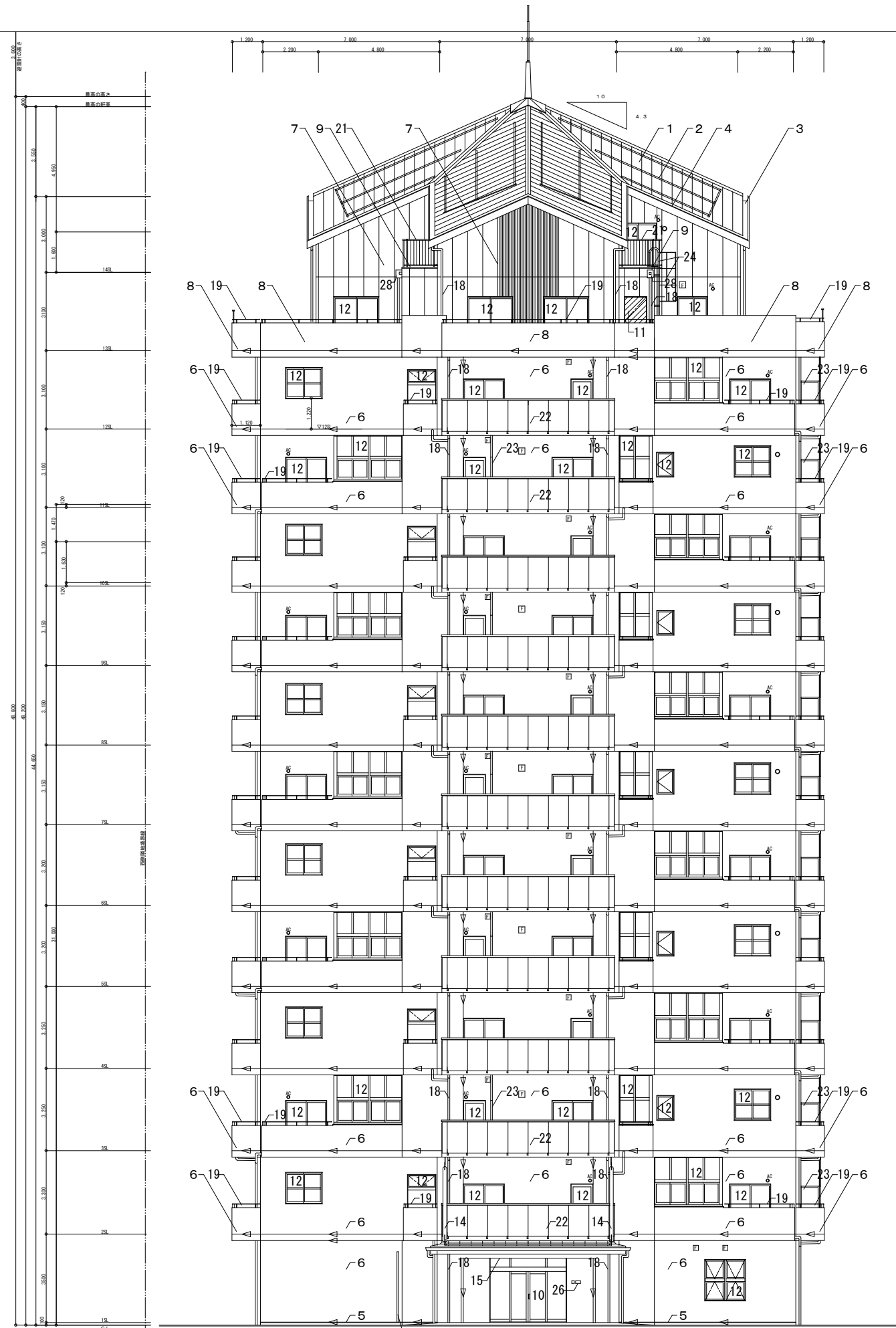
備考	一級建築士事務所新潟県知事登録(ト)第1774号	組合審査	総括・一級建築士	担当事務所長	工事名称	縮尺 A1版 1/100 A3版 1/200 年月日 R03.12	整理分類番号	図面番号 ●電・衛・空 ○浄・厨・外 A-20 A-52	合計枚数 枚
	上越市建築設計協同組合 管理建築士・一級建築士登録第125068号 宮下幸彦		第106046号 基本(電・衛・空) 衛生(浄・厨・外) 齊藤博	基本(電・衛・空) 衛生(浄・厨・外) 齊藤博	市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事				



備考	一級建築士事務所新潟県知事登録(ト)第1774号	組合審査	総括・一級建築士	担当事務所長	工事名称	図面名	縮尺 A1版 1/100 A3版 1/200	整理分類番号	図面番号 ④電・配・空 ⑤浄・厨・外 A-21 A-52
	上越市建築設計協同組合	第106046号	基本・電・配・空・設備 南第一設計組合事務所	齊藤博	市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事				
	管理建築士・一級建築士登録第125068号 宮下幸彦		齊藤博	齊藤博					



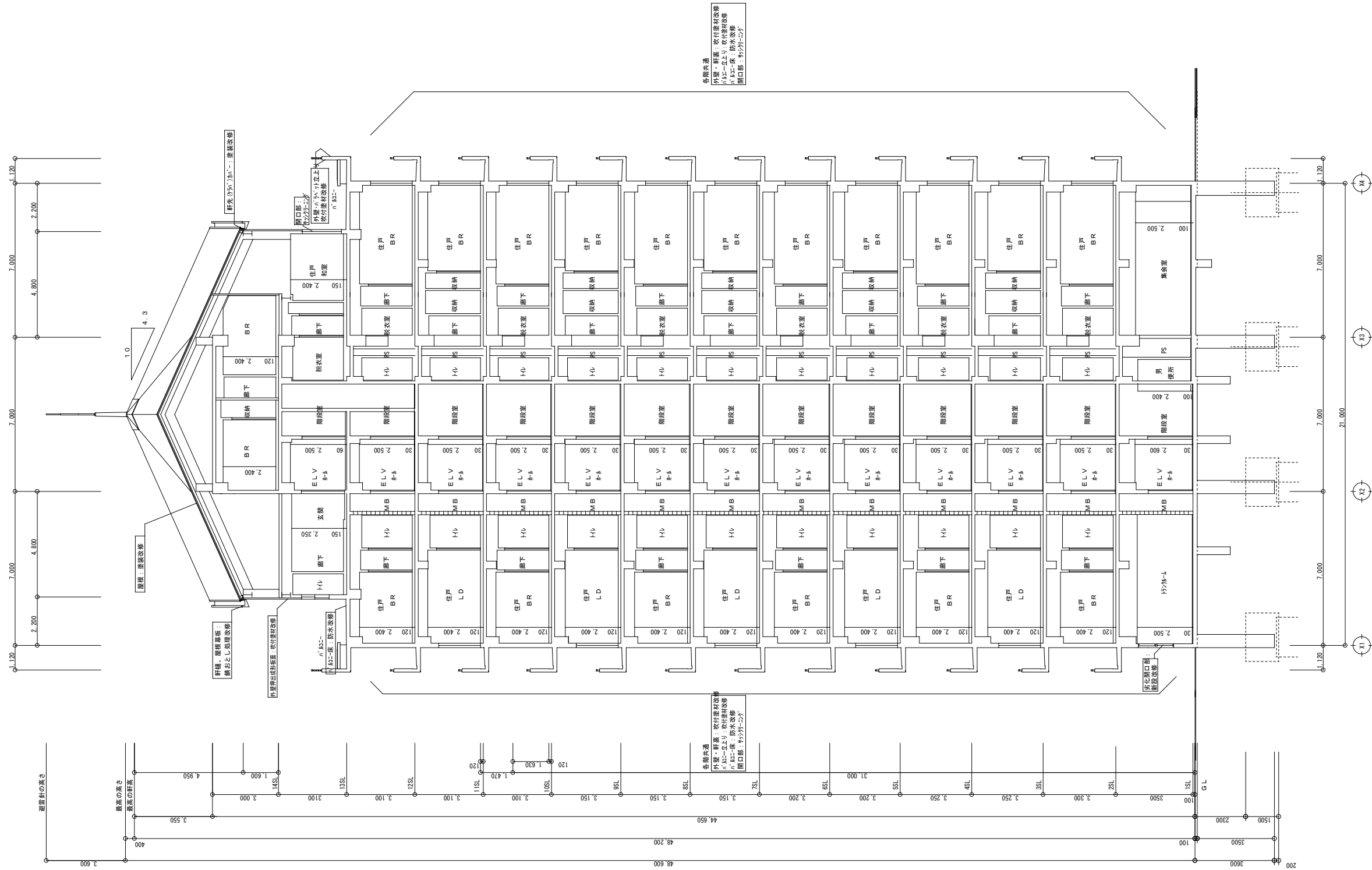
改修前



改修後

備考	一級建築士事務所新潟県知事登録(ト)第1774号	組合 審査	総括・一級建築士	担当事務所長	工事名称	図面名	縮尺 A1版 1/100 A3版 1/200 年月日 R03.12	整理分類番号	図面番号 ①・電・衛・空 浄・厨・外 合計枚数
	上越市建築設計協同組合	第106046号 新潟一級設計総合事務所 齊藤 博	基本 ①・電・衛・空 浄・厨・外 齊藤 博	市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事	【改修前・後】 南立面図				

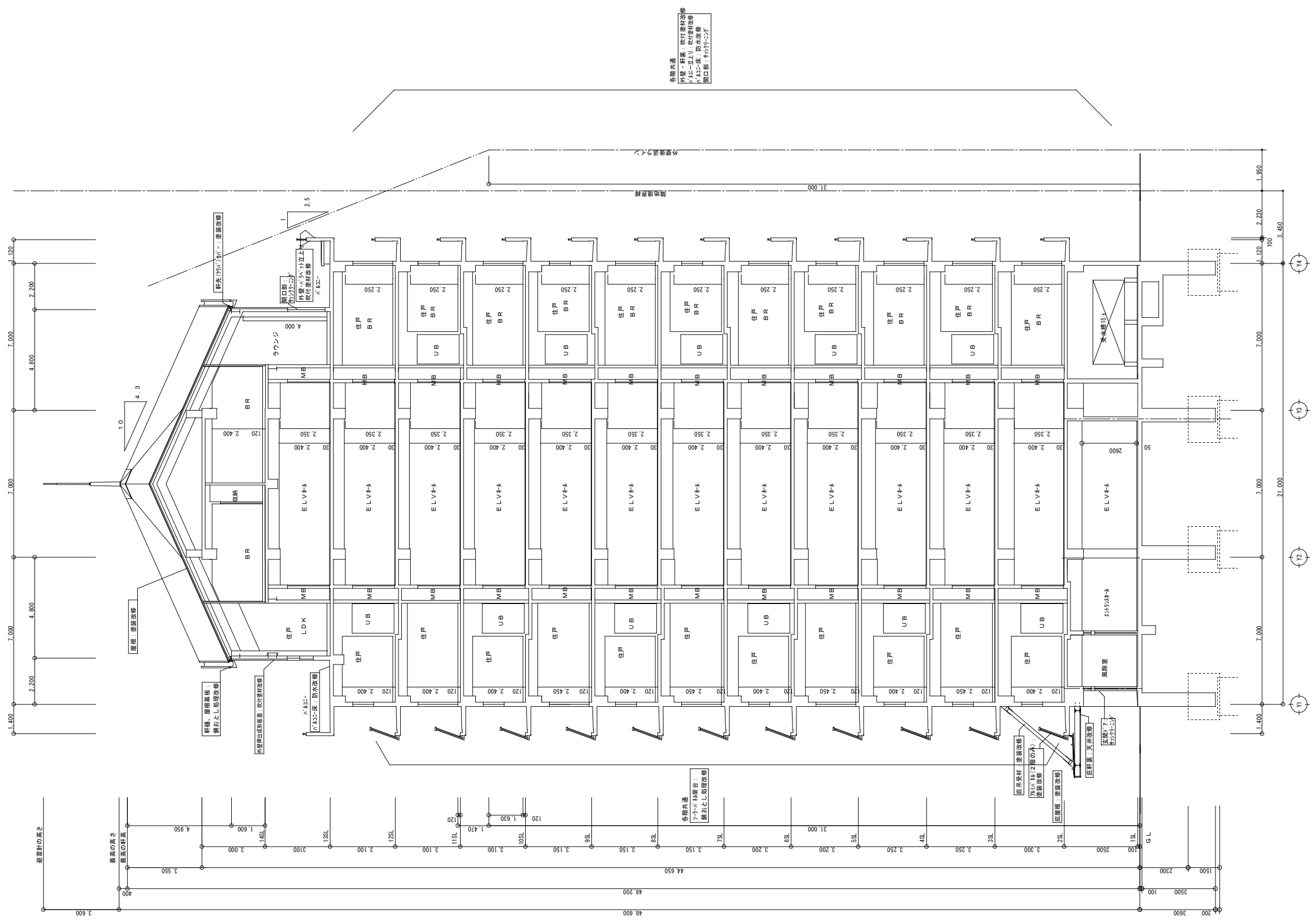




各階共通  
 外壁・軒裏：吹付素材改修  
 1F以上：外壁・吹付素材改修  
 1F以下：防水改修  
 開口部：1F以下：2F

改修後 東西断面図 1/100  
 ※改修前後で姿に変更がないため、改修前の作図は省略する。  
 ※改修内容は概略表現により詳細内容は別図による。

備考	一級建築士事務所新潟県知事登録(ト)第17774号	組合審査	総括・一級建築士	担当事務所長	工事名称	図面名	縮尺 A1版 1/100 A3版 1/200	整理分類番号	図面番号 A-24 A-52
	上越市建築設計協同組合								

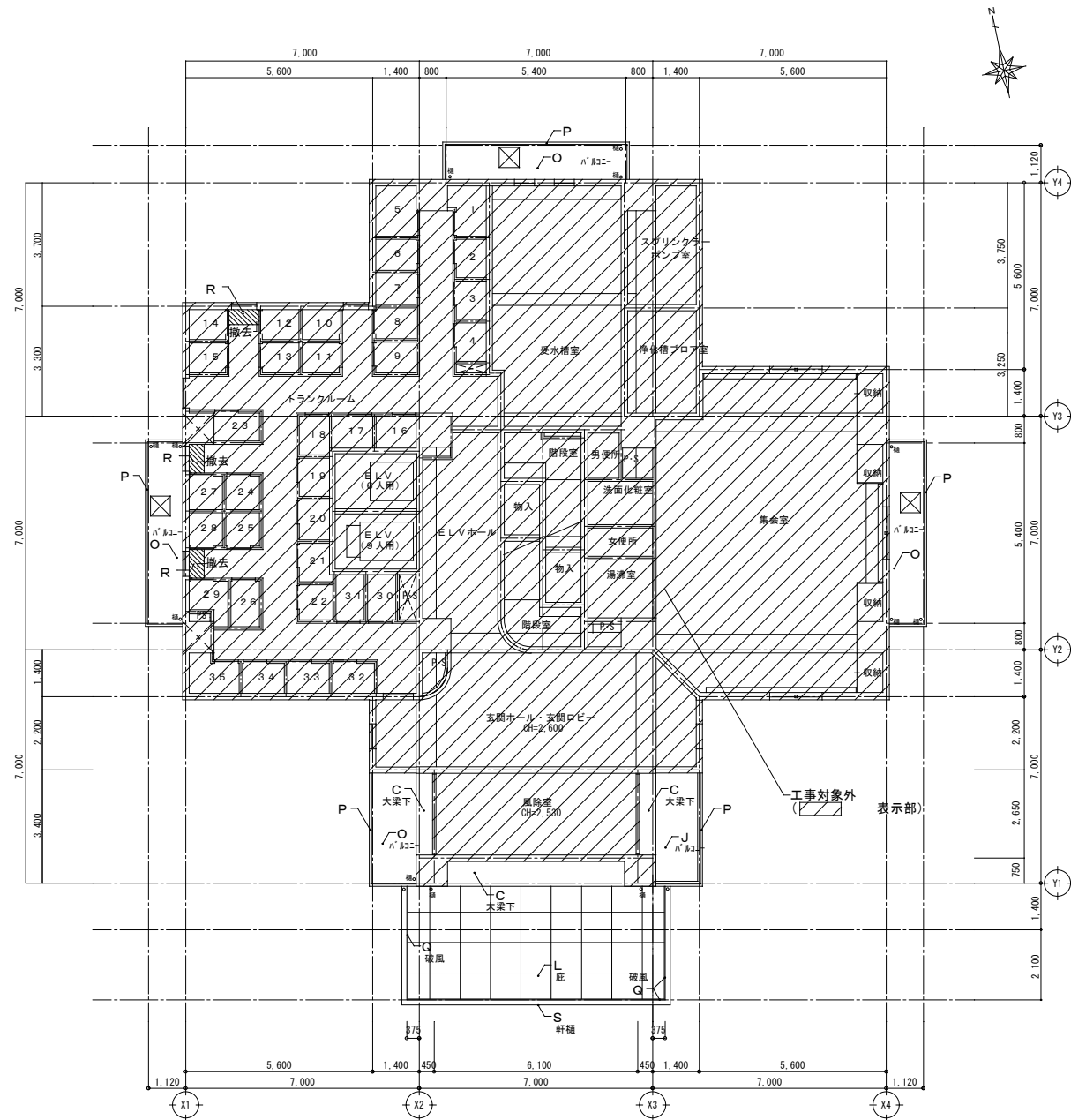


名称共通  
 内容・材質：改修前仕様  
 1.5-1.5上：改修前仕様  
 1.5-1.5下：改修前仕様  
 開口部：サッシ

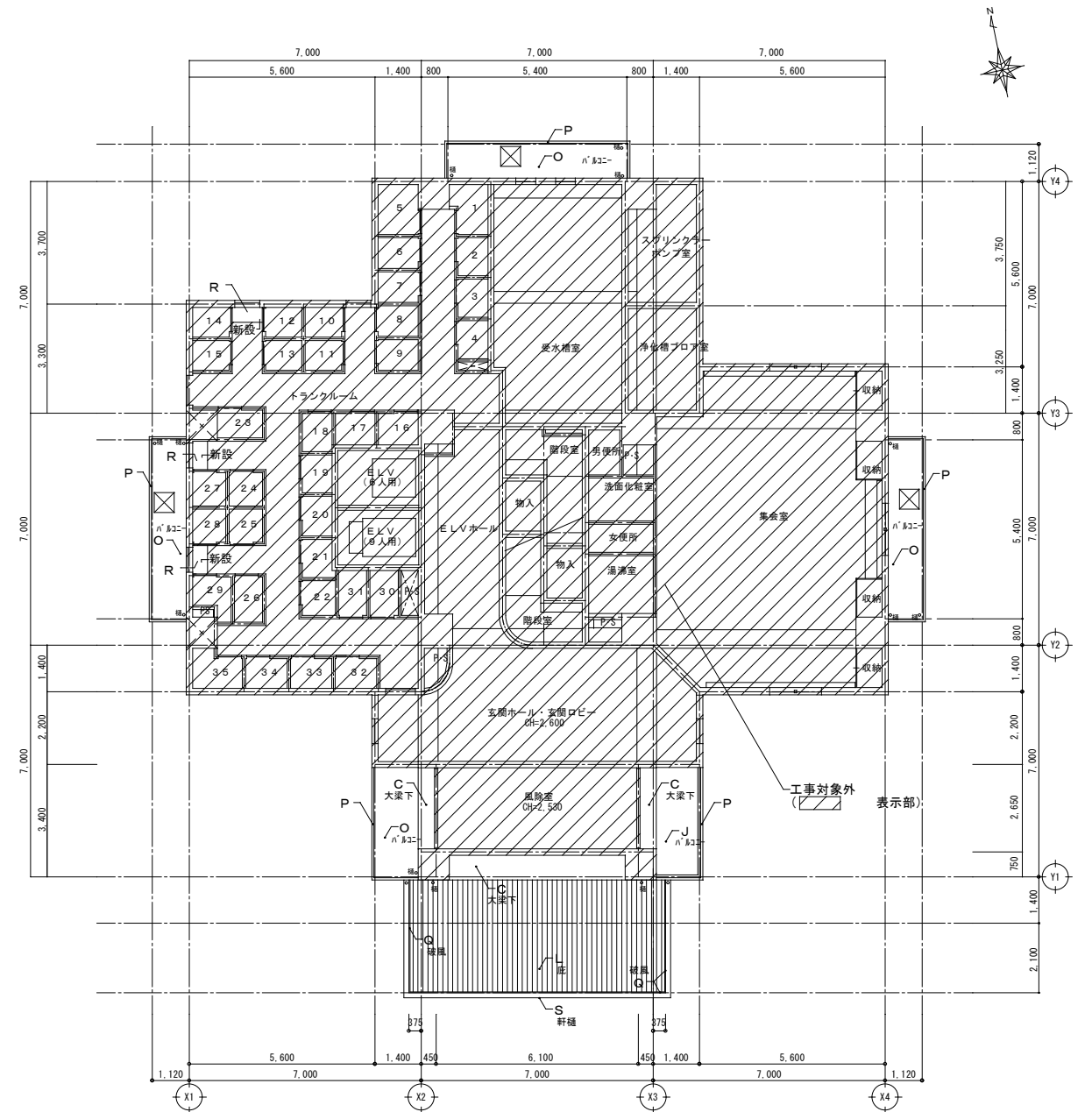
改修後 南北断面図 1/1100  
 ※改修前後で姿に変更がないため、改修前の作図は省略する。  
 ※改修内容は概略表現により詳細内容は別図による。

備考	一級建築士事務所新潟県知事登録(ト)第1774号 <b>上越市建築設計協同組合</b> 管理建築士・一級建築士登録第125068号宮下幸康	組合審査	包括一級建築士 第100046号 新潟一設計総合事務所 齊藤博	担当事務所長 基本・構造・設備 新潟一設計総合事務所 齊藤博	工事名称 <b>市営港町特定公共賃貸住宅外部改修工事</b>	図面名 <b>【改修後】 断面図(2)</b>	縮尺 A1版 1/100 A3版 1/200 年月日 R03.12	整理分類番号	図面番号 ②・電・衛・空 浄・厨・外 A-25 A-52
							合計枚数 枚		





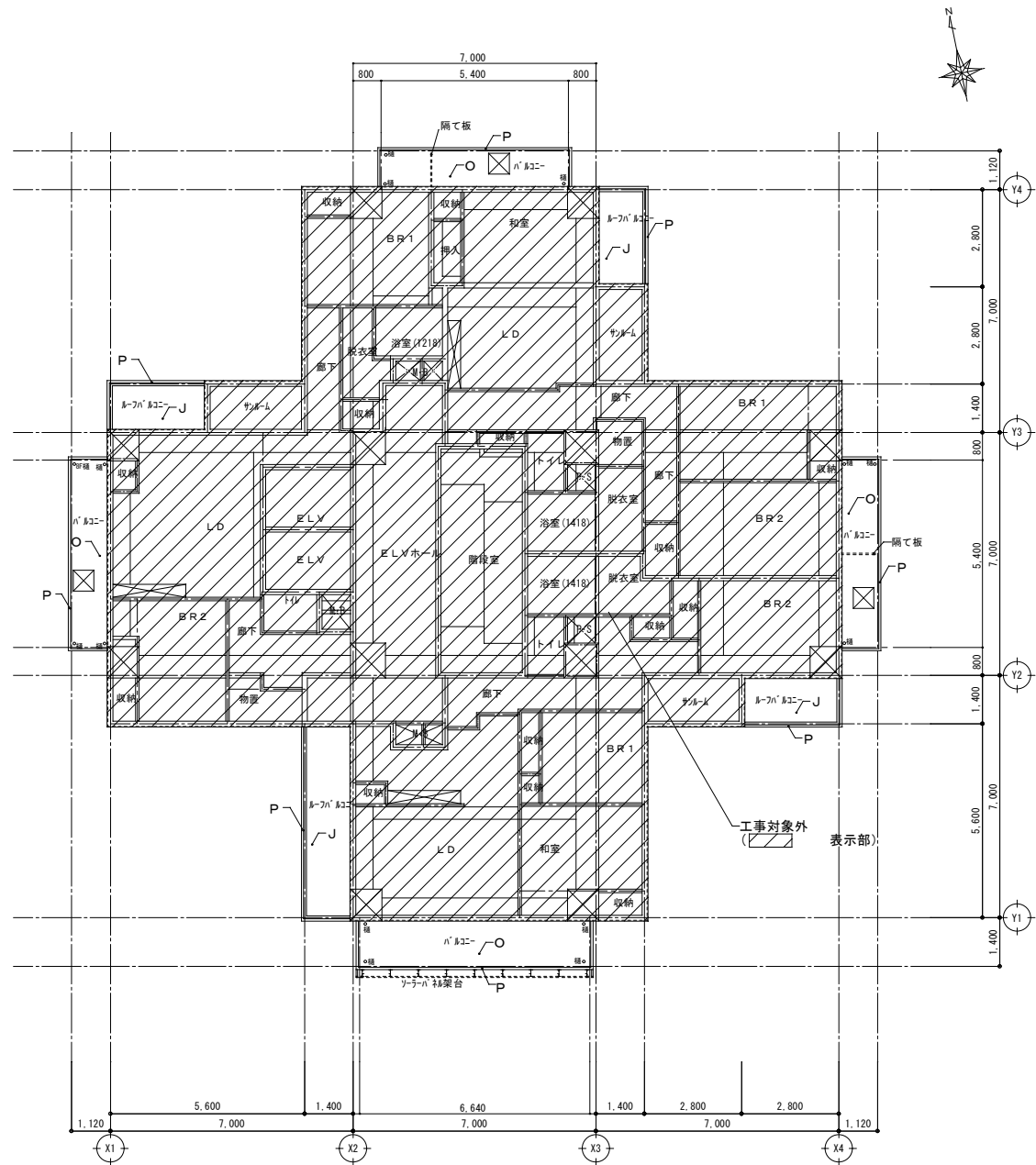
【改修前】1階天井伏せ図 S=1/100



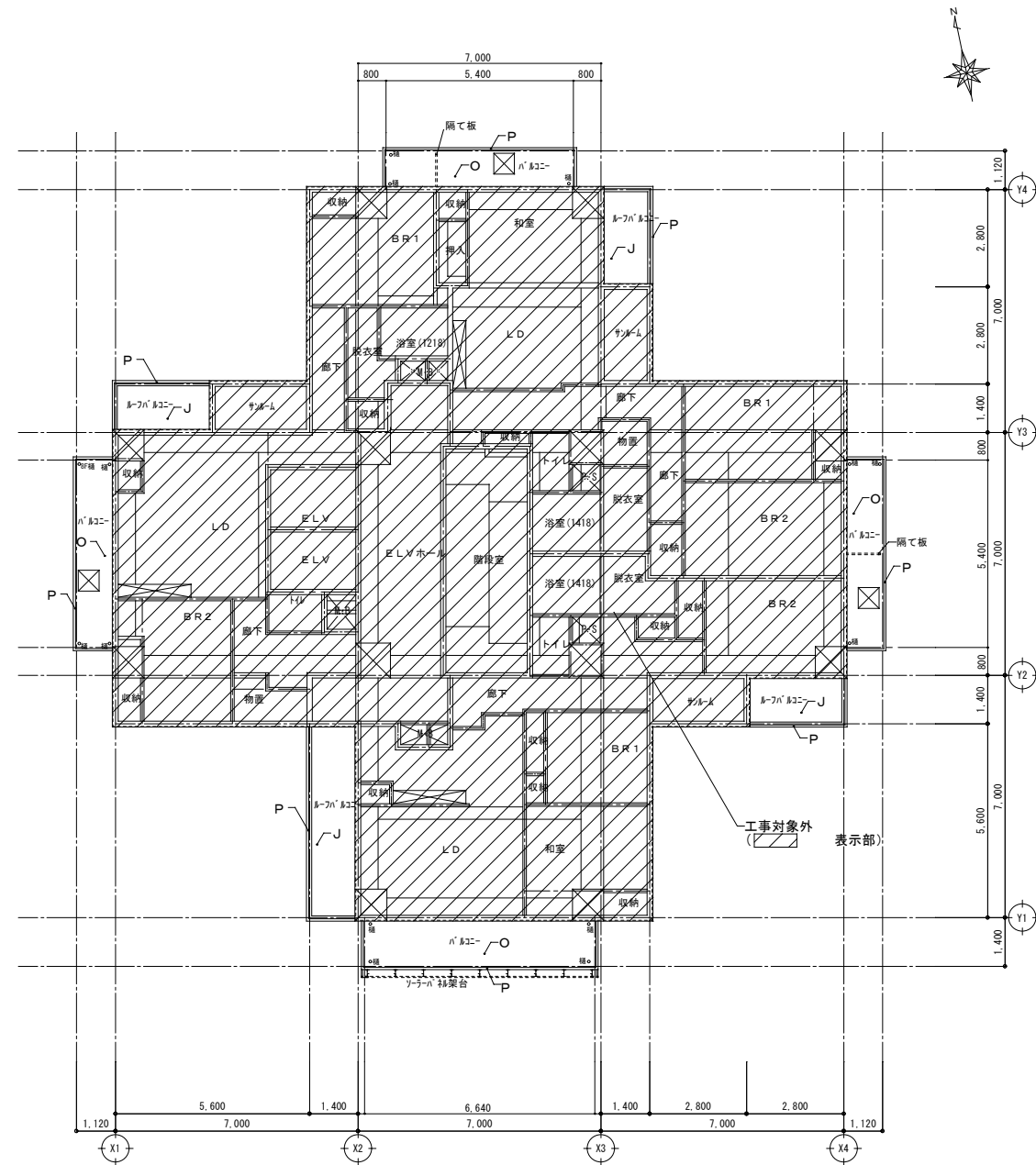
【改修後】1階天井伏せ図 S=1/100

既存天井凡例			
記号	仕上材	記号	仕上材
C	床裏：防水型外装薄塗材E(多機能型単層弾性仕上塗材) 下地 コンクリート打放し増打 t=15補修仕上	Q	破風鼻隠し：SPt&t=0.40加工品
G	防水型外装薄塗材E 下地：ケイ酸カルシウム板t=6.0+LGS25(ワット共)撤去 廻り縁(塩ビ製)撤去	R	化粧石膏板・D(ダクト) t=9.5 撤去 LGS19型(ワット共) 廻り縁(塩ビ製)撤去※強部のみ
I	屋根裏板：SPt&t=0.45加工品 W350×H300 ビス止め@450計6カ所 取付ビス止め撤去	S	軒巻：SPt&t=0.45加工品 高性能樹脂被覆品 取外し
J	居室裏：防水型外装薄塗材E 断熱複合板打込みt=31	☒	避難ハッチ 枠：SPt&t製
L	応裏：ケイ酸カルシウム板t=6.0(エンボス模様) EP 撤去 下地 LGS25(ワット共) 撤去 廻り縁：塩ビ製撤去	.....	隔て板：7&t製支柱補強45°
O	防水型外装薄塗材E 下地 コンクリート打放し補修仕上		
P	軒先角：防水型外装薄塗材E(多機能型単層弾性仕上塗材)化粧目地20×15 下地 コンクリート打放し補修仕上		

改修後凡例			
記号	仕上材	記号	仕上材
C	床裏上塗り：高耐水性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑状仕上げ 下地処理：劣化部補修(ワット等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上 素地調整 下地調整塗材：可とう形改修塗材RE(2&t)0.8kg/m <sup>2</sup> 以上	Q	破風鼻隠し：DP塗(1&t) フッ素樹脂 下地調整：RB種 錆止め塗装B種(2&t)
G	防水型外装薄塗材E(ローラー塗) 下地調整：1液形2&t 樹脂溶剤系シーラ塗 下地：ケイ酸カルシウム板t=6.0+LGS25(ワット共)@300 新設 廻り縁(塩ビ製)新設	R	化粧石膏板・D t=9.5 新設 LGS19@225(ワット共) 新設 廻り縁(塩ビ製) 新設※強部のみ
I	屋根裏板：溶剤による錆落とし処理仕上 下地調整RC種 笠木、鼻板取付ビス@450 新設	S	軒巻：高圧水洗浄(水圧15Mpa程度) 再取付
J	居室裏：防水型外装薄塗材E(ローラー塗) 下地調整：1液形エポキシ樹脂溶剤系シーラ塗	☒	避難ハッチ：溶剤による錆落とし処理仕上 下地調整RC種
L	応裏：アルミハンドレドレ貼t=1.0 新設 下地 LGS25(ワット共)@300 新設 廻り縁：アルミ製新設	.....	隔て板：軒巻支柱取付&t&t及び&t部：溶剤による錆落とし処理 下地調整RC種
O	上塗り：高耐水性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑状仕上げ 下地処理：劣化部補修(ワット等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上 素地調整 下地調整塗材：可とう形改修塗材RE(2&t)0.8kg/m <sup>2</sup> 以上		
P	軒先角上塗り：高耐水性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑状仕上げ 下地処理：劣化部補修(ワット等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上 素地調整 下地調整塗材：可とう形改修塗材RE(2&t)0.8kg/m <sup>2</sup> 以上 化粧目地：20×15 既存のまま		



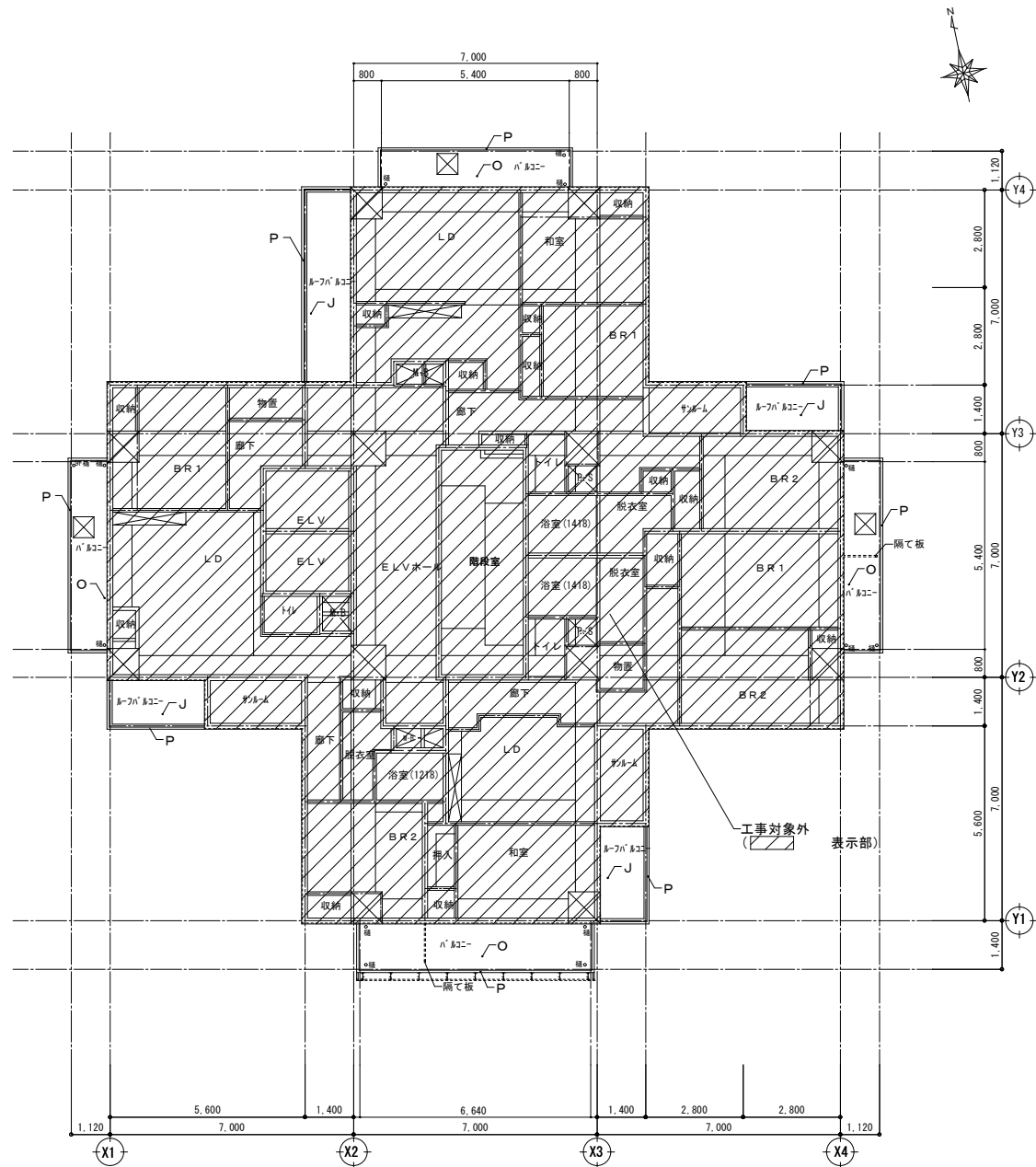
【改修前】2・4・6・8階天井伏せ図 S=1/100



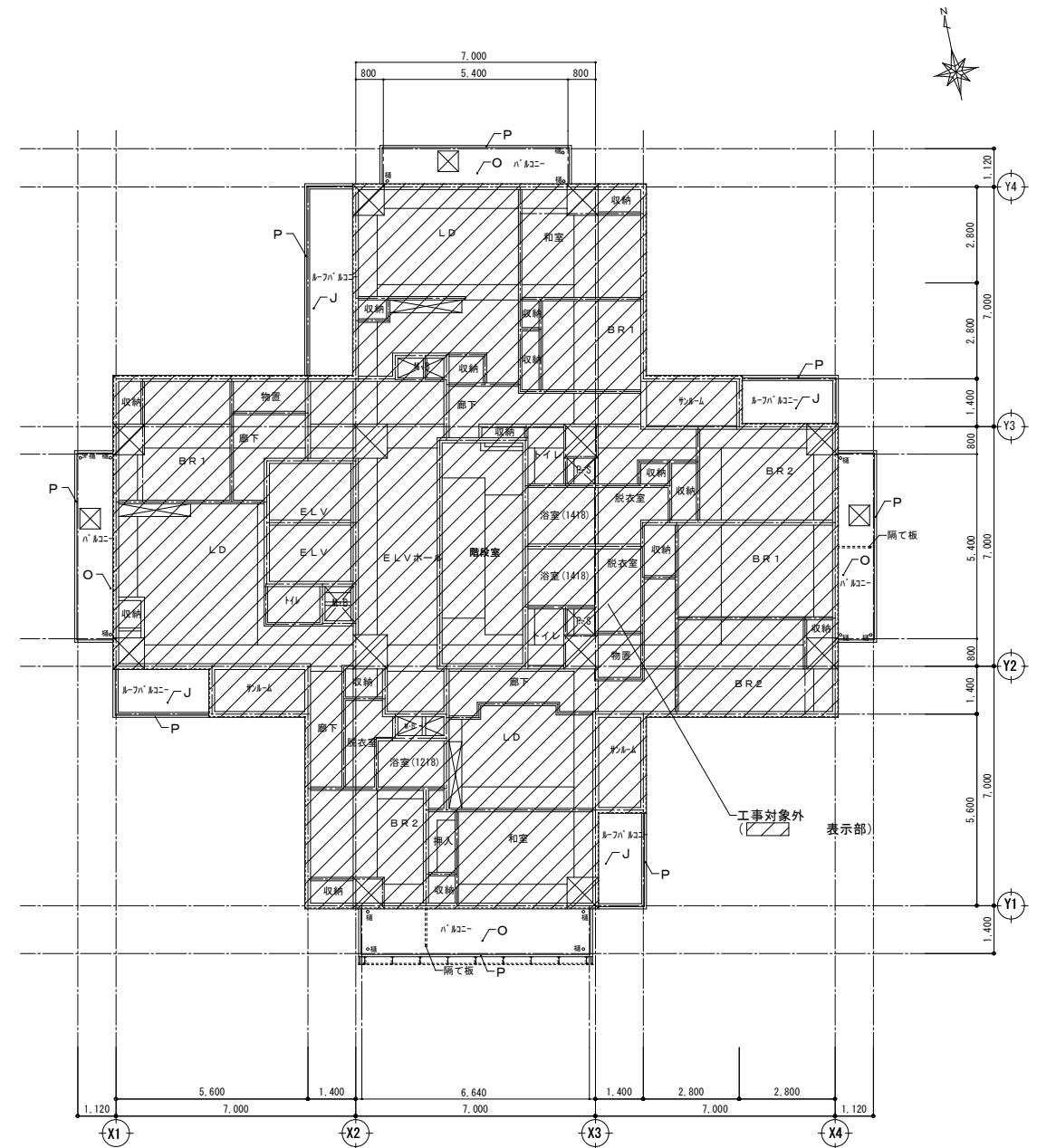
【改修後】2・4・6・8階天井伏せ図 S=1/100

既存天井凡例			
記号	仕上材	記号	仕上材
C	床裏：防水型外装薄塗材E(多機能型単層弾性仕上塗材) 下地 コンクリート打放し増打 t=15補修仕上	Q	破風鼻隠し：ｽﾌﾟﾙｽﾄ=0.40加工品
G	防水型外装薄塗材E 下地：ケイ酸カルシウム板t=6.0+LGS25(ｼｰﾄ共)撤去 廻り縁(塩ビ製)撤去	R	化粧石膏板・ﾄﾞｲﾝﾌﾟﾗｯﾄﾞt=9.5 撤去 LGS19型(ｼｰﾄ共) 廻り縁(塩ビ製)撤去※張替部のみ
I	屋根裏板：ｽﾌﾟﾙｽﾄ=0.45加工品 W350×H300 ビス止め@450計6カ所 取付ビス止め撤去	S	軒種：ｽﾌﾟﾙｽﾄ芯入高性樹脂被覆品 取外し
J	居室裏：防水型外装薄塗材E 断熱複合板打込みt=31	☒	避難ハッチ 種、量：ｽﾌﾟﾙｽﾄ製
L	庇裏：ケイ酸カルシウム板t=6.0(エンボス模様) EP 撤去 下地 LGS25(ｼｰﾄ共) 撤去 廻り縁：塩ビ製撤去	.....	隔て板：7&3製支柱補強45角
O	防水型外装薄塗材E 下地 コンクリート打放し補修仕上		
P	軒先角：防水型外装薄塗材E(多機能型単層弾性仕上塗材)化粧目地20×15 下地 コンクリート打放し補修仕上		

改修後凡例			
記号	仕上材	記号	仕上材
C	床裏上塗り：高耐水性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑仕上げ 下地処理：劣化部補修(ｸﾗｯｸ等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上 素地調整 下地調整塗材：可とう形改修塗材RE(ﾈｯﾌﾟﾙ)0.8kg/㎡以上	Q	破風鼻隠し：DP塗 (1級)ﾌﾝｼﾞ樹脂 下地調整：RB種 錆止め塗装B種(ﾈｯﾌﾟﾙ)
G	防水型外装薄塗材E(ローラー塗) 下地調整：1液形ﾈｯﾌﾟﾙ樹脂溶剤系ｼｰﾄ塗 下地：ケイ酸カルシウム板t=6.0+LGS25(ｼｰﾄ共)@300 新設 廻り縁(塩ビ製)新設	R	化粧石膏板・ﾄﾞｲﾝﾌﾟﾗｯﾄﾞt=9.5 新設 LGS19@225(ｼｰﾄ共) 新設 廻り縁(塩ビ製)新設※張替部のみ
I	屋根裏板：溶剤による錆落とし処理仕上 下地調整RC種 立木、幕板取付ビス@450 新設	S	軒種：高圧水洗浄(水圧15Mpa程度) 再取付
J	居室裏：防水型外装薄塗材E塗(ローラー塗) 下地調整：1液形エポキシ樹脂溶剤系ｼｰﾄ塗	☒	避難ハッチ：溶剤による錆落とし処理仕上 下地調整RC種
L	庇裏：アルミスﾊﾞﾝﾄﾞﾚｯﾄﾙt=1.0 新設 下地 LGS25(ｼｰﾄ共)@300 新設 廻り縁：アルミ製新設	.....	隔て板：軒裏支柱取付ｽﾌﾟﾙｽﾄ及ﾌﾟﾚｰﾄ部：溶剤による錆落とし処理 下地調整RC種
O	上塗り：高耐水性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑仕上げ 下地処理：劣化部補修(ｸﾗｯｸ等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上 素地調整 下地調整塗材：可とう形改修塗材RE(ﾈｯﾌﾟﾙ)0.8kg/㎡以上		
P	軒先角上塗り：高耐水性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑仕上げ 下地処理：劣化部補修(ｸﾗｯｸ等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上 素地調整 下地調整塗材：可とう形改修塗材RE(ﾈｯﾌﾟﾙ)0.8kg/㎡以上 化粧目地：20×15 既存のまま		



【改修前】3・5・7・9階天井伏せ図 S=1/100



【改修後】3・5・7・9階天井伏せ図 S=1/100

既存天井凡例			
記号	仕上材	記号	仕上材
C	床裏：防水型外装薄塗材E(多機能型単層弾性仕上塗材) 下地 コンクリート打放し増打 t=15補修仕上	Q	破風鼻隠し：スパンt=0.40加工品
G	防水型外装薄塗材E 下地：ケイ酸カルシウム板t=6.0-LGS25(イオト共)撤去 廻り縁(塩ビ製)撤去	R	化粧石膏ボード(シフト) t=9.5 撤去 LGS19型(イオト共) 廻り縁(塩ビ製)撤去※強部のみ
I	屋根高板：3F-2Fにt=0.45加工品 W350×H300 ビス止め@450計6カ所 取付ビス止め撤去	S	軒種：2F-3F高圧樹脂被覆品 取外し
J	居室裏：防水型外装薄塗材E 断熱複合板打込みt=31	☒	避難ハッチ 枠、蓋：スパン製
L	庇裏：ケイ酸カルシウム板t=6.0(エンボス模様) EP 撤去 下地 LGS25(イオト共) 撤去 廻り縁(塩ビ製)撤去	.....	隔て板：7#製支柱補強45角
O	防水型外装薄塗材E 下地 コンクリート打放し補修仕上		
P	軒先角：防水型外装薄塗材E(多機能型単層弾性仕上塗材)化粧目地20×15 下地 コンクリート打放し補修仕上		

改修後凡例			
記号	仕上材	記号	仕上材
C	床裏上塗り：高耐性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑状仕上げ 下地処理：劣化部補修(3ヶ所等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上 素地調整 下地調整塗材：可とう形改修塗材RE(※ 杉系)0.8kg/m <sup>2</sup> 以上	Q	破風鼻隠し：DP塗(1級)フッ素樹脂 下地調整：RB種 錆止め塗装B種(※ 杉系)
G	防水型外装薄塗材E(ローラー塗) 下地調整：1液形2# 樹脂溶剤系シーラー塗 下地：ケイ酸カルシウム板t=6.0+LGS25(イオト共)@300 新設 廻り縁(塩ビ製)新設	R	化粧石膏ボードt=9.5 新設 LGS19@225(イオト共) 新設 廻り縁(塩ビ製)新設※強部のみ
I	屋根高板：溶剤による錆落とし処理仕上 下地調整RB種 笠木、高板取付ビス@450 新設	S	軒種：高圧水洗浄(水圧15Mpa程度) 再取付
J	居室裏：防水型外装薄塗材E塗(ローラー塗) 下地調整：1液形エポキシ樹脂溶剤系シーラー塗	☒	避難ハッチ：溶剤による錆落とし処理仕上 下地調整RB種
L	庇裏：アルミバンドレル貼t=1.0 新設 下地 LGS25(イオト共)@300 新設 廻り縁：アルミ製新設	.....	隔て板：軒裏支柱取付ビス及びプレート部：溶剤による錆落とし処理 下地調整RB種
O	上塗り：高耐性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑状仕上げ 下地処理：劣化部補修(3ヶ所等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上 素地調整 下地調整塗材：可とう形改修塗材RE(※ 杉系)0.8kg/m <sup>2</sup> 以上		
P	軒先角上塗り：高耐性樹脂塗料(シリコン系)ローラー塗り平滑状仕上げ 下地処理：劣化部補修(3ヶ所等) 高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)の上 素地調整 下地調整塗材：可とう形改修塗材RE(※ 杉系)0.8kg/m <sup>2</sup> 以上 化粧目地：20×15 既存のまま		

